

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
21時38分00秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00284	保育料等滞納対策事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進		
予算事業	10414	01	03	02
所属長	北澤 直子	01	05	01
根拠法令等	吹田市立教育・保育施設条例			
事業開始年度	平成22年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	保育料等の滞納整理に係る事務。		
目標	滞納保育料等の減少。		
結果	保育料自己負担の徹底と公平性の確保。また、安定的な保育事業の運営。		
事業概要	<p>年々増加する保育料等の滞納者に対し、臨時雇用員（徴収員）を雇用し、滞納整理業務を行う。その中でも電話催告については、現年度の未納者・滞納者への早期着手による徴収率の向上が期待され、それにより翌年度への滞納繰越を減らしていくことができる。また、財産調査については給与照会による会社等を通じた催告の期待ももたれ、納付への効果が期待できる。更に財産調査の結果によっては滞納処分の実行や「滞納処分の執行停止」等の不納欠損処理への判断をスムーズに行うことができ、過年度徴収率の向上が期待できる。</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託又は一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,224	2,181	2,222	2,140	2,228
人件費職員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	409	395	403	403	795
総事業費(A+B)	2,633	2,576	2,625	2,543	3,023
特定財源(C)	10	8	8	6	6
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	10	8	8	6	6
市負担(D)	2,623	2,568	2,617	2,537	3,017
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,623	2,568	2,617	2,537	3,017
財源計(C+D)	2,633	2,576	2,625	2,543	3,023

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00284

2頁
平成30年 6月14日
21時38分00秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	催告の延べ件数	箇所	目標値	1,044.00	1,108.00	666.00
			実績値	453.00	395.00	
			達成度(%)	43.40	35.60	
目標値の積算方法	滞納者児童数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.69	6.44	
			一般財源(千円)	5.67	6.42	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保育所保育料・幼稚園保育料等の現年度徴収率	円	目標値	99.20	99.30	99.30
			実績値	99.30	99.30	
			達成度(%)	100.10	100.00	
目標値の積算方法	前年度徴収率以上	単位当たりコスト	総事業費(千円)	25.94	25.61	
			一般財源(千円)	25.86	25.55	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	臨時雇用員の活用により、未納になってから早期の段階での電話催告などきめ細かい滞納整理業務を行うことができ、このことが特に現年度の収納率向上につながっている。 また、臨時雇用員の人件費以上の効果が現れており、継続して事業を行う必要があると考えている。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	保育料等滞納対策事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	284				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理	点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理	点	
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	92	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	284
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は滞納保育料の減少と徴収率の向上を図るための事業であり、事業開始前年度の平成21年度から滞納金額は徐々に減少してきており、また、現年度分の徴収率は、保育所保育料、主食給食費、延長保育料の各項目において、年々上昇しており、着実に効果を上げている。</p> <p>しかし、依然として8,200万円ほどの滞納額があり、幼稚園保育料等でも滞納繰越になるケースが出てきており、公平性・公正性及び安定的な保育事業の提供に係る財源確保の観点から、今後も滞納整理を進めていくことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今後、主に3～5歳児を対象とした幼児教育保育無償化が想定されるが、0～2歳児の保育料、公立の給食費・延長保育料などやこれまでの滞納金額の徴収は残るため、無償化後も引き続き保育料等の滞納対策に取り組んでいく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
20時42分45秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00285	私立保育所整備費助成事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援／仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	10416	01	03	02	01	06	01	01	私立保育所整備費助成事業（児童福祉総務費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）	木村（2582）				
根拠法令等	吹田市私立保育所整備事業助成金交付要綱								
事業開始年度	不明	直近の改正		平成27年度					
改正内容	対象経費の見直し等								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	認可保育所の創設・増改築等を行う社会福祉法人等		
目標	認可保育所の創設・増改築等		
結果	待機児童の解消を図る		
事業概要	認可保育所の創設・増改築等を行う社会福祉法人に対し、市が建設費等の一部を助成し、保育所の受け入れ枠の増加を図るほか、園舎等の環境を改善し、良好な保育環境を維持する。なお、平成29年度の単年度事業で千里山・佐井寺地域の千里山虹が丘並びにニュータウン地域の佐竹台1丁目と私立保育所の創設および平成29・30年度の2か年事業で山田・千里丘地域の山田東1丁目と私立保育所の創設を実施。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	社会福祉法人くじら	
	交付先②	社会福祉法人藍野福祉会	
	交付先③	（仮称）社会福祉法人山田敬愛福祉会	
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	28,840	36,673	289,118	603,975	495,693
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人性費総額(B)	817	790	806	806	2,384
総事業費(A+B)	29,657	37,463	289,924	604,781	498,077
特定財源(C)	25,636	32,598	256,994	536,897	440,617
国	25,636	32,598	256,994	536,897	440,617
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,021	4,865	32,930	67,884	57,460
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	30,000	0	50,000
一般財源	4,021	4,865	2,930	67,884	7,460
財源計(C+D)	29,657	37,463	289,924	604,781	498,077

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00285

2頁
平成30年 6月 7日
20時42分45秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	私立保育所の増加箇所数	箇所	目標値	3.00	3.00	11.00
			実績値	3.00	3.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	事業計画	単位当たりコスト	総事業費(千円)	12,487.67	201,593.67	
			一般財源(千円)	1,621.67	22,628.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保育所等利用児童数(翌年4月1日現在)	人	目標値	5,479.00	5,679.00	7,424.00
			実績値	6,532.00	6,886.00	
			達成度(%)	119.20	121.30	
目標値の積算方法	増加定員の2/3の利用児童数増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.74	87.83	
			一般財源(千円)	0.74	9.86	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>子ども・子育て支援事業計画に基づき、平成30年度までに待機児童を解消するための確保方策を策定し、計画的に私立保育所等の創設を進めている。また、平成28年度からは、待機児童解消アクションプランにより、より具体的な目標をもって、保育所の創設に取り組んでいるものである。本事業は、賃貸物件に係る保育所改修等支援事業とともに保育所の創設を推進していくための手段の一つであり、継続的に実施していく必要があるものである。</p> <p>また、私立幼稚園から認定こども園への移行を進める必要があることから、認定こども園に移行する学校法人についても整備費助成の対象とするため、別途、平成29年度の新規事業として、認定こども園整備費助成事業を創設した。</p> <p>さらに、国の要綱改正により、一定条件のもと株式会社や学校法人も交付金の交付対象となっており、待機児童解消のために、本助成金の交付対象の拡大を実施する。</p>

事務事業分析シート

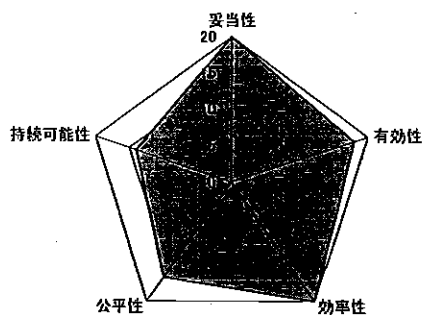
所属名	保育幼稚園室	事業名	私立保育所整備費助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00285				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>昨年度から引き続き、本事業により利用児童数が増加し、待機児童数の減少の効果が見込まれ、待機児童対策として一定の成果を挙げているといえる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月11日
20時34分38秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00286	病児・病後児保育事業（委託）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援／仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	10419	01	03	02	01	99	99	99	病児・病後児保育事業（委託）（児童福祉総務費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）			仲村（2581）		
根拠法令等	吹田市病児・病後児保育事業実施要綱								
事業開始年度	平成20年度	直近の改正			平成28年度				
改正内容	利用定員について、保育士の配置基準を満たしている場合に限り1日につき10人まで受入れることができるよう改正（原則は9人）。								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	病氣中または病氣回復期で集団保育が困難な児童		
目標	対象児童を一時的に預かる。		
結果	保護者の子育てと就労の両立を支援し、児童の健全な発達を促す。		
事業概要	保育園児等で、病氣中または病氣の回復期ではあるが集団保育の困難な期間、病児・病後児保育室で一時的にその児童を預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援し、児童の健全な発達に寄与する。藤白台1丁目、垂水町3丁目の2か所で委託実施しており、利用料は1人1日あたり2,000円で、午前8時から午後7時まで開室している。（なお、千里丘西の1か所は補助で実施している。）		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	えちごクリニック 越後茂之
		委託先②	特定医療法人ダイワ会 大和病院
		委託先③	一般社団法人 吹田市医師会
	主な委託内容		病児・病後児保育事業の実施を委託
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	63,296	51,427	52,910	53,694	53,098
人件費職員数(人)	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	981	948	967	967	954
総事業費(A+B)	64,277	52,375	53,877	54,661	54,052
特定財源(C)	29,346	26,388	26,544	26,543	26,468
国	14,681	13,194	13,272	13,255	13,234
府	14,665	13,194	13,272	13,288	13,234
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	34,931	25,987	27,333	28,118	27,584
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	34,931	25,987	27,333	28,118	27,584
財源計(C+D)	64,277	52,375	53,877	54,661	54,052

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00286

2頁
平成30年 6月11日
20時34分38秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	病児・病後児保育室の延べ利用者数(日数)	日	目標値	5,825.00	5,780.00	5,697.00
			実績値	3,320.00	3,486.00	
			達成度(%)	57.00	60.30	
目標値の積算方法	吹田市子ども・子育て支援事業計画における量の見込み	単位当たりコスト	総事業費(千円)	15.78	15.68	
			一般財源(千円)	7.83	8.07	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	病児・病後児保育室の実利用者数	人	目標値	594.00	836.00	831.00
			実績値	836.00	831.00	
			達成度(%)	140.70	99.40	
目標値の積算方法	前年度実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	62.65	65.78	
			一般財源(千円)	31.08	33.84	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	設定困難	設定困難	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 急な病気で、保育園等に登園できない児童を預かることで、保護者の就労を支援する。	達成状況 保護者の子育てと就労の両立を支援することができた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価) <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明 本事業は、集団保育の困難な期間、一時的にその児童を預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援している。ニーズ調査の結果からも、近年の就労形態の多様化や女性の社会進出、子どもを産んでも働き続けられるニーズに応えるものとして必要不可欠である。 年々利用者数が増加しているため、利用定員や受け入れ対象者の拡充による委託料の増額、また、開設から5年以上経過する施設もあるため施設の改修費用の補助等、今後、事業費については増額を検討する必要がある。 また、吹田市子ども・子育て支援事業計画では、平成31年度までの取り組み目標として、病児・病後児保育室を市内で5か所整備としており、引き続きニーズが高い地域で新たに開設できるよう検討を進める必要がある。 なお、平成31年度には、岸部地域で4か所目が開室予定である。	

事務事業分析シート

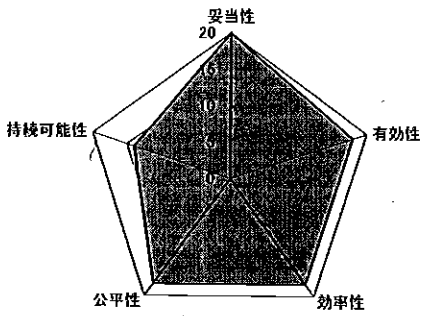
所属名	保育幼稚園室	事業名	病児・病後児保育事業(委託)	事業区分	その他
事務事業番号	00286				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>ニーズ調査の分析・結果を踏まえた吹田市子ども・子育て支援事業計画に基づき、今後、JR以南地域、片山・岸部地域に1か所、千里山・佐井寺地域に1か所を新たに整備する必要がある。しかし、この病児保育の実施は、医師との連携が必要であり、専用のスペースの確保が難しいことや、感染症の流行などに左右されキャンセルも多く安定的な経営は難しいために、事業実施主体を確保することが課題である。今後、利用者数を見極めながら、担い手を検討していく。(平成31年度、岸部地域に1か所開室予定)</p> <p>また、既存の病児・病後児保育室が円滑・適正に運営できているかを検証し、長期的に市民サービスが提供できる環境を整備していくことや、各病児・病後児保育室が連携し合って、より多くの児童を受け入れる環境を整備するため、研修会の開催や、保育士の質の向上のための研修に参加しやすい環境を整備する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
09時27分55秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00289	通常保育事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	10425	01	03	02	03	02	01	01	通常保育事業（保育園費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）	金場（2581）				
根拠法令等	児童福祉法、吹田市子ども・子育て支援法施行条例、吹田市立教育・保育施設条例								
事業開始年度	昭和26年度	直近の改正	平成27年度						
改正内容	子ども・子育て支援法施行に伴う改正。								
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他			
対象	保育を必要とする児童（乳幼児）			
目標	保護者の労働又は疾病等の事由により、保育を必要とする児童を公立保育所において保育する。			
結果	保護者の就労を支援し、児童を心身ともに健やかに育成する。			
事業概要	公立保育所の運営に必要な経費（保育士の賃金、被服や賄材料の購入）の執行に関する業務を行う。			
実施方法	■ 直接実施	株式会社 協同臨床検査所		
	■ 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
		主な委託内容	食品検査、尿・検便検査業務	
□ 補助金・負担金	交付先①			
		交付先②		
		交付先③		
□ その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	967,565	960,163	944,696	928,391	871,949
人件費職員数(人)	290.77	288.70	295.74	295.64	263.02
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,375,591	2,280,730	2,381,299	2,380,494	2,089,694
総事業費(A+B)	3,343,156	3,240,893	3,325,995	3,308,885	2,961,643
特定財源(C)	635,949	708,201	299,750	279,525	637,852
国	7,826	27,946	180	180	26,567
府	5,746	25,859	0	0	24,497
その他	622,377	654,396	299,570	279,345	586,788
市負担(D)	2,707,207	2,532,692	3,026,245	3,029,360	2,323,791
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,707,207	2,532,692	3,026,245	3,029,360	2,323,791
財源計(C+D)	3,343,156	3,240,893	3,325,995	3,308,885	2,961,643

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00289

2頁
平成30年 6月14日
09時27分55秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	利用児童数（月ごとの利用児童数の合計）	人	目標値	25,344.00	25,344.00	22,560.00
			実績値	27,442.00	27,190.00	
			達成度(%)	108.30	107.30	
目標値の積算方法	利用定員1,880人×12月	単位当たりコスト	総事業費(千円)	118.10	121.69	
			一般財源(千円)	92.29	111.41	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	4月1日現在実利用児童数	人	目標値	2,367.00	2,314.00	2,004.00
			実績値	2,283.00	2,268.00	
			達成度(%)	96.50	98.00	
目標値の積算方法	保育を必要とする児童数（利用児童数+公立を第1希望にしている待機児童数）（4月1日現在）	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,419.58	1,458.94	
			一般財源(千円)	1,109.37	1,335.70	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	保育所の利用希望者は増加しており、今後もこの傾向は続く予想される。また、保育所の待機児童対策として、公立・私立での定員を超えての受入れなどにより待機児童解消に向けて取り組んでおり、引き続き地域のニーズに応じた利用枠を設定しつつ、本事業を継続して実施していく必要がある。平成31年度に、2園を民営化する予定等、効率化にも取り組んでおり、事業費は適切である。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	通常保育事業	事業区分	その他
事務事業番号	00289				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	88	③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>核家族化や女性の社会参加(就労)が進む中で、保育を利用できない待機児童が増加していて、公立私立での定員を超えての受け入れや私立保育所の新設・増築などにより待機児童の解消に向けて努力しているところである。その中で、これまで培ってきた公立保育所の役割やあり方を踏まえたうえで、今後の子育て支援事業や保育需要など様々な課題を整理・検討し、市民サービスの向上につながるよう、5園を民営化したうえで引き続き公立保育所の運営に取り組んでいく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
19時36分29秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00290	緊急一時保育事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進		
予算事業	10428	01	03	02
所屬長	北澤 直子	03	02	02
根拠法令等	吹田市子ども・子育て支援法施行細則			
事業開始年度	昭和54年度	直近の改正	平成27年度	
改正内容	子ども・子育て支援法施行に伴う改正。			
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	一時的に保育の実施を要する児童		
目標	保護者等に緊急事由が生じ、家庭での保育が困難な場合に児童の保育を行う。		
結果	保護者の養育の負担軽減を図る。		
事業概要	児童を養育している家庭の保護者が、疾病、出産、看護等の緊急事由により、家庭における養育が一時的に困難となった場合に、就学前の児童を保育所で一定期間預かるため、利用定員とは別に緊急一時枠（定員外）を確保し、保育の実施を行う。一事由につき利用期間は原則として2か月。対象年齢は0歳から5歳までとし、公立保育所にて実施。（ただし、協議のうえ私立保育所等において実施する場合もある。）		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	110	0	110	1	111
人件費職員数(人)	0.10	0.00	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	0	806	806	795
総事業費(A+B)	927	0	916	807	906
特定財源(C)	110	0	110	0	111
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	110	0	110	0	111
市負担(D)	817	0	806	807	795
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	817	0	806	807	795
財源計(C+D)	927	0	916	807	906

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00290

2頁
平成30年 6月 8日
19時36分29秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	緊急一時利用児童の受入れ数	人	目標値	65.00	78.00	78.00
			実績値	78.00	78.00	
			達成度(%)	120.00	100.00	
目標値の積算方法	緊急一時利用申込み児童数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	10.35	
			一般財源(千円)	0.00	10.35	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	設定困難		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
緊急一時利用希望児童の保育と保護者の負担軽減による児童福祉の向上	達成状況 平成28年度は78人(延べ2027日)、平成29年度は78人(延べ1955日)を受入れることで児童福祉の向上に努めた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>私立保育所は常時利用定員まで児童を受け入れていて、緊急的な利用は難しいため、公立保育所で通常の利用定員枠を超えて緊急の枠を確保している。一時的に保育を実施することで、子どもを産み、育てやすい環境が整備できるため、本事業を継続して実施していく必要がある。平成29年度は前年に引き続き、通常の保育士配置の中で対応する等、事業費は必要最小限度に抑えられており適切である。</p>

事務事業分析シート

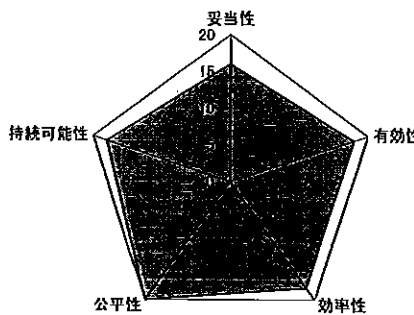
所属名	保育幼稚園室	事業名	緊急一時保育事業	事業区分	その他
事務事業番号	00290				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	90	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保護者が出産や病気で入院することは、どの世帯でもいつでも起こりうることであるが、私立保育所は常時利用定員まで児童を受け入れていて、緊急的な利用は難しいため、公立保育所で通常の利用定員枠を超えて緊急の枠を確保している。 なお、平成29年度は前年に引き続き、通常の保育士配置の中で対応できたため、臨時雇用員配置に伴う賃金は発生していない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月11日
20時41分06秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00291	公立保育所施設管理事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	10429	01	03	02	03	03	01	01	公立保育所施設管理事業（保育園費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）	金場（2581）				
根拠法令等									
事業開始年度	直近の改正								
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	公立保育所		
目標	公立保育所の経常的な施設維持管理		
結果	保育環境の維持・改善		
事業概要	公立保育所の管理・運営に伴う光熱水費等の経常的な経費の執行、施設修繕や設備保守点検・給食室清掃業務委託を行い、適切な施設の維持管理を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	北大阪清掃株式会社
		委託先②	大阪瓦斯株式会社エネルギー事業部
		委託先③	公益社団法人 吹田市シルバー人材センター
		主な委託内容	廃棄物処理、GHP、除草・剪定業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	132,229	120,175	134,636	126,268	122,635
人件費職員数(人)	19.05	19.05	19.05	19.05	17.05
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	155,639	150,495	153,391	153,391	135,463
総事業費(A+B)	287,868	270,670	288,027	279,659	258,098
特定財源(C)	23,896	25,062	24,829	25,295	25,121
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	23,896	25,062	24,829	25,295	25,121
市負担(D)	263,972	245,608	263,198	254,364	232,977
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	263,972	245,608	263,198	254,364	232,977
財源計(C+D)	287,868	270,670	288,027	279,659	258,098

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00291

2頁
平成30年 6月11日
20時41分06秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	公立保育所施設数	か所	目標値	18.00	18.00	16.00
			実績値	18.00	18.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	経常的な維持管理が必要な公立保育所施設数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	15,037.22	15,536.61	
			一般財源(千円)	13,644.89	14,131.33	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	設定困難		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
公立保育所の適切な施設管理及び事業運営	達成状況 利用児童の処遇改善及び児童福祉の向上

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	公立保育所の経常的な施設維持管理であるので、抜本的な廃止・縮小は不可能だが、光熱水費や消耗品・備品の購入については保育園に節約の意識を持つよう指導し、備品についても、できる限り更新せず、原則修理で対応し、経費節減に努めており、事業費は適切である。 また、施設長寿命化の観点から、保育室の床・内装・建具や遊具等の維持補修を計画的に実施していく必要がある。 なお、平成31年度に2園を民営化する予定。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立保育所施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00291				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	82	③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00291
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保育所施設は、経年による老朽化が著しく、日々修繕が必要な箇所が発生している。建設以来、大規模な修繕を行っていない園も多く、床などの内装や外観の損傷も目立っているのに加え、屋上防水機能が働いていないこともあり、雨漏りなどで園児の保育に悪影響が及んでいる。備品関係についても老朽化が進み、何度も同じ備品を修繕し使用している状況である。今後も、園児の保育に支障をきたさないよう対応するには、施設長寿命化の観点からも、保育室の維持補修を計画的に実施していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月11日
20時42分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00292	公立保育所耐震補強事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	10430	01	03	02	03	03	02	01	公立保育所耐震補強事業（保育園費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）		金場（2581）			
根拠法令等	耐震改修促進法・市有建築物の耐震化促進計画								
事業開始年度	平成20年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	公立保育所（2階建て、500㎡以上）		
目標	公立保育所の耐震診断を実施し、必要があれば耐震補強工事を実施。		
結果	公立保育所の耐震補強。		
事業概要	耐震改修促進法により、保育所も指導の対象となっている。近年、大規模な地震が多発しており、大地震がいつどこで発生してもおかしくない状況であるため、耐震診断を行い、耐震補強の必要性を判断し、必要な場合は耐震補強工事を実施する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社板垣建築事務所
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	耐震診断業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	22,387	18,365	22,186	14,418	14,156
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	82	79	81	81	159
総事業費(A+B)	22,469	18,444	22,267	14,499	14,315
特定財源(C)	2,060	2,374	2,055	1,639	0
国	2,060	2,374	2,055	1,639	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	20,409	16,070	20,212	12,860	14,315
地方債	0	0	0	0	14,100
その他	0	0	0	0	0
一般財源	20,409	16,070	20,212	12,860	215
財源計(G+D)	22,469	18,444	22,267	14,499	14,315

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00292

2頁
平成30年 6月11日
20時42分01秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	耐震診断実施施設数	か所	目標値	1.00	0.00	0.00
			実績値	1.00	0.00	
			達成度(%)	100.00	0.00	
目標値の積算方法	市有建築物の耐震化促進計画による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	18,444.00	0.00	
			一般財源(千円)	16,070.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	耐震診断実施済施設数	か所	目標値	16.00	16.00	16.00
			実績値	16.00	16.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	耐震改修促進法に基づく指導対象施設	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,152.75	906.19	
			一般財源(千円)	1,004.38	803.75	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	耐震基準を満たしている園舎の割合	か所	目標値	18.00	18.00	17.00
			実績値	16.00	17.00	
			達成度(%)	88.90	94.40	
目標値の積算方法	耐震基準を満たしている園舎の数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,152.75	852.88	
			一般財源(千円)	1,004.38	756.47	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>本事業については、園児の安全な保育に必要な不可欠であるため、業務仕様や入札等でできる限り節減に努めながら、計画的に実施しており、事業費は適切である。</p> <p>なお、耐震改修促進法の対象外である平屋の山田保育園についても、乳幼児の安全を確保するために平成28年度耐震診断を実施し、平成30年度に耐震補強工事を行う予定である。</p>

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立保育所耐震補強事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00292				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>近年、大規模な地震が多発しており、大地震がいつどこで発生してもおかしくない状況である。特に、建築物の耐震改修については、「社会全体の国家的な緊急課題」と位置づけられている。公立保育所についても、耐震診断を順次実施し、計画的に耐震化に取り組んでいる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
19時44分11秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00293	公立保育所エアコン更新事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	10431	01	03	02	03	03	03	01	公立保育所エアコン更新事業（保育園費）
所属長	北澤 直子				担当者（内線）金場（2581）				
根拠法令等									
事業開始年度	平成19年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	公立保育所		
目標	エアコンの室内機・室外機の更新		
結果	保育・調理環境の維持・改善		
事業概要	保育所のエアコン（保育室はガス式冷暖房、遊戯室は電気式冷暖房、給食室はスポットクーラー）は、経年による老朽化が著しく、故障が相次いでいるため計画的に更新している。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	16,343	11,828	18,894	17,466	13,534
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	82	79	81	81	159
総事業費(A+B)	16,425	11,907	18,975	17,547	13,693
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	16,425	11,907	18,975	17,547	13,693
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	16,425	11,907	18,975	17,547	13,693
財源計(C+D)	16,425	11,907	18,975	17,547	13,693

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00293

2頁
平成30年 6月 8日
19時44分11秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保育室のエアコンの更新（施設数）	か所	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	保健室・0～1歳児室を優先し、次に2～5歳児室を更新するとして、毎年度2か所ずつの更新（18年後に更新）が適当と考える。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5,953.50	8,773.50	
			一般財源(千円)	5,953.50	8,773.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	設定困難		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 空調設備（機器）の更新	達成状況 適切な保育環境の維持管理及び利用児童の処遇改善

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	本事業を、保育所の経常的な維持管理を目的とする施設管理事業から切り離し、エアコン更新事業として位置づけることで、一体的に管理することができている。購入年度の古いものから順次更新するよう計画を立てており、事業費は適切である。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立保育所エアコン更新事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00293				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00293
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保育室のエアコンは、設置後10年以上経過しており、使用頻度が増す夏・冬の時期に故障することが多い。夏場での保育室エアコンの故障は、室内の温度は30度以上になり、園児の健康面にも悪影響を及ぼし、また修理にも平均で1週間～10日間の期間を必要とするため、園児の保育を行う上で支障をきたすことがある。</p> <p>また、給食室エアコンについても、夏場で使用ができないときは室内の温度が40度以上になり、調理員の健康を害し、調理環境の衛生面への悪影響も懸念されるため、計画的に更新していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月11日
20時24分06秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00294	公立保育所改修事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	10432	01	03	02	03	03	04	01	公立保育所改修事業（保育園費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）			金場（2581）		
根拠法令等									
事業開始年度	昭和63年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他			
対象	公立保育所			
目標	公立保育所の施設改善			
結果	保育環境の改善			
事業概要	公立保育所施設の経年劣化及び老朽化に伴う臨時的な整備工事（屋上防水、外壁改修等）を実施する（部分改修を含む）。			
実施方法	■ 直接実施			
	□ 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
			主な委託内容	
	□ 補助金・負担金	交付先①		
交付先②				
交付先③				
□ その他	内容			

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	192,867	155,478	166,831	141,608	102,022
人件費職員数(人)	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	164	79	81	81	159
総事業費(A+B)	193,031	155,557	166,912	141,689	102,181
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	193,031	155,557	166,912	141,689	102,181
地方債	0	0	150,100	0	91,300
その他	0	0	0	0	0
一般財源	193,031	155,557	16,812	141,689	10,881
財源計(C+D)	193,031	155,557	166,912	141,689	102,181

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00294

2頁
平成30年 6月11日
20時24分06秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	改修実施施設数	か所	目標値	7.00	3.00	1.00
			実績値	7.00	3.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	緊急に(屋上防水・外壁)改修の必要がある施設	単位当たりコスト	総事業費(千円)	22,222.43	47,229.67	
			一般財源(千円)	22,222.43	47,229.67	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	設定困難		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 公立保育所の適切な施設管理	達成状況 適切な保育環境の維持管理及び利用児童の処遇改善

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	予算の削減・事業の効率化、保育園への負担を考慮し、公共施設最適化推進委員会において、「来年度に更新が必要」と判断された施設等、緊急度が高施設から優先的に実施しており、事業費は適切である。 なお、公共施設最適化推進委員会で判断されない床等の内装についても計画を立てて実施していく。あわせて、当初1階のホールで昼食を喫食するコンセプトで設計した2園について、子育て支援事業の拡充等でホールが利用しにくい現状から給食リフトの設置を検討していく必要がある。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立保育所改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00294				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>建設以来、大規模修繕未実施施設が6か所あり、また大規模修繕を実施して10年以上経過している施設も多いため、経年・老朽化による劣化・損傷が激しく、屋上防水機能・床・外壁・内装など様々な面で、大規模な改修が必要な状況である。</p> <p>平成22年度から屋上防水・外壁改修工事を計画的に実施しているが、保育室の床等の劣化も著しく、園児が負傷するケースも発生しているため、施設長寿命化の観点からも、大規模修繕を計画的に実施していくことを検討する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
20時01分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00295	公立保育所防犯警備協力員配置事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	41	子どもの視点に立ったまちづくり／安心・安全なまちづくりの推進		
予算事業	10433	01	03	02 03 04 01 01 公立保育所防犯警備協力員配置事業（保育園費）
所属長	北澤 直子	担当者（内線） 金場（2581）		
根拠法令等	吹田市防犯警備協力員配置事業実施要領			
事業開始年度	平成13年度	直近の改正	平成15年度	
改正内容	有償ボランティアから無償ボランティアに変更したことに伴う改正			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	公立保育所を利用する児童		
目標	利用児童の安全確保・処遇改善のために防犯警備協力員を配置する。		
結果	保育所における安全対策の充実が図られ、園児が安心して保育所生活を送ることができる。		
事業概要	公立保育所における児童の安全対策の充実を図るため、保育所の正門における立哨及び所内の巡回等、児童の安全を守る警備活動に協力する防犯警備協力員を配置する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	無償ボランティア	

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	7	6	7	6	7
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	82	79	81	81	159
総事業費(A+B)	89	85	88	87	166
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	89	85	88	87	166
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	89	85	88	87	166
財源計(C+D)	89	85	88	87	166

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00295

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	防犯警備協力員配置施設数	か所	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	50.00	50.00	
目標値の積算方法	全公立保育所16か所を最終目標として、当面の目標はもう1か所増やす。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	85.00	87.00	
			一般財源(千円)	85.00	87.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	不審者等の侵入による事件の発生防止		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	不審者等の侵入による事件の発生数を0件とする。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	現在、いずみ保育園において2人交代制で、火曜日と木曜日の午後4時から午後5時まで配置している。平成25年度は5人交代制で月曜日から金曜日配置していたが、平成26年度は4人、平成28年度は2人と年々無償ボランティアの人数が減っているが、人の目による抑止効果は大きなものがあると考えており、今後も警備員等の配置は必要であると考えている。事業費は厳寒期に警備員へ配布するカイロの購入や警備活動中の傷害保険料であり適切である。		

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立保育所防犯警備協力員配置事業	事業区分	その他
事務事業番号	00295				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00295
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>人の目による抑止効果は大きなものがあると考えており、今後も警備員等の配置は必要であると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
09時31分34秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00296	公立保育所安全対策事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	41	子どもの視点に立ったまちづくり／安心・安全なまちづくりの推進		
予算事業	10434	01	03	02 03 05 01 01 公立保育所安全対策事業（保育園費）
所属長	北澤 直子	担当者（内線）金場（2581）		
根拠法令等				
事業開始年度	平成19年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他			
対象	公立保育所を利用する児童			
目標	利用児童の安全の確保・処遇改善のために安全管理員を配置する。			
結果	保育所における安全対策の充実が図られ、園児が安心して保育所生活を送ることができる。			
事業概要	公立保育所に地域の人材を活用した安全管理員を配置し、不審者の侵入等を監視することにより、保育所における安全対策の充実を図る。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	■ 委託又は一部委託	委託先①	公益社団法人 吹田市シルバー人材センター	
		委託先②		
		委託先③		
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	公立保育所（16か所）に安全管理員を配置	
		交付先①		
交付先②				
□ その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	24,147	23,983	24,065	24,065	21,319
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	82	79	81	81	159
総事業費(A+B)	24,229	24,062	24,146	24,146	21,478
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	24,229	24,062	24,146	24,146	21,478
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	24,229	24,062	24,146	24,146	21,478
財源計(C+D)	24,229	24,062	24,146	24,146	21,478

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00296

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	安全管理員配置施設数	か所	目標値	18.00	18.00	16.00
			実績値	18.00	18.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	公立保育所施設数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,336.78	1,341.44	
			一般財源(千円)	1,336.78	1,341.44	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	不審者等の侵入による事件の発生防止	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	不審者等の侵入による事件の発生数を0件とする。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>人の目による抑止効果は大きなものがあると考えており、今後も警備員等の配置は必要であると考えている。また、地方自治法施行令第167条の2第1項第3号による随意契約により、シルバー人材センターから役務の提供を受ける契約をしており、事業費は適切に執行されている。</p>

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立保育所安全対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	00296				

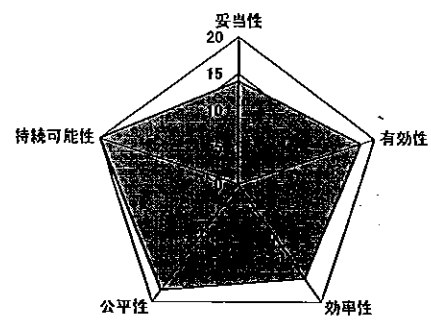
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00296
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>従来は指名競争入札により請負業者を決定し民間の警備会社に委託してきたが、平成23年度からシルバー人材センターへ委託することで、事業経費を削減し、できるだけ地域の方を配置することで、より行き届いた見守り事業となるよう再構築した。また、平成23年度に大阪府の補助金を活用し、門扉のオートロックシステムを導入した。しかし、保護者が安心して子どもを預けられるよう、保育所の安全対策は重要であり、人の目による抑止効果は大きなものがあると考えており、今後も警備員等の配置は必要であると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月17日
13時38分50秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00297	地域子育て支援センター事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	21	地域における子育て支援/親と子が共に育つ地域での支援							
予算事業	10435	01	03	02	03	06	01	01	地域子育て支援センター事業（保育園費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）		金場（2581）			
根拠法令等	吹田市子ども・子育て支援事業計画								
事業開始年度	平成9年度	直近の改正		平成25年度					
改正内容	実施箇所を各公立保育所から地域（全12か所）に変更したことに伴う改正								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	就学前の在宅の児童とその保護者		
目標	公立保育所における地域子育て支援センター機能を強化し、「子育ての地域協働の構築」や「子育ての主体形成」を目指す。		
結果	地域で親子の友だちづくりが広がり、孤立した育児や育児不安が軽減される。また、子育て支援に関わる機関や団体の連携が進み、地域ぐるみの子育て支援が広がる。		
事業概要	公立保育所12か所に、地域子育て支援センター事業の企画、調整、実施を担当する地域担当保育士を配置し、各保育所で育児教室をはじめ、子育てサークルの育成、育児相談、施設の一部開放などの地域子育て支援事業を実施している。また、保健センターや幼稚園、民生・児童委員や地区福祉委員等関係機関との連携を進め、地域の子育て環境の基盤形成を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,234	1,206	1,253	1,231	1,071
人件費職員数(人)	12.00	12.00	12.00	12.00	11.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	98,040	94,800	96,624	93,876	87,395
総事業費(A+B)	99,274	96,006	97,877	95,107	88,466
特定財源(C)	10,404	13,086	10,404	10,456	10,456
国	5,202	5,965	5,202	5,228	5,228
府	5,202	7,121	5,202	5,228	5,228
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	88,870	82,920	87,473	84,651	78,010
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	88,870	82,920	87,473	84,651	78,010
財源計(C+D)	99,274	96,006	97,877	95,107	88,466

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00297

2頁
平成30年 8月17日
13時38分50秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	1歳半及び0歳児育児教室延べ実施回数	回	目標値	804.00	804.00	717.00
			実績値	832.00	761.00	
			達成度(%)	103.50	94.70	
目標値の積算方法	1歳半育児教室7回×62コース+0歳児育児教室5回×74コース(平成30年度は▲87回)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	115.39	124.98	
			一般財源(千円)	99.66	111.24	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	1歳半及び0歳児育児教室参加組数	組	目標値	2,212.00	2,171.00	1,720.00
			実績値	2,036.00	1,831.00	
			達成度(%)	92.00	84.30	
目標値の積算方法	在宅児童数(推計)×40%(平成30年度は、在宅児童数×35%)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	47.15	51.94	
			一般財源(千円)	40.73	46.23	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】本事業費は適切である。(理由:総事業費は微減しており、費用の内訳も、地域子育て支援センター事業の企画等を担当する保育士の人件費と印刷用紙代や離乳食講座用の賄材料費、活動中の傷害保険料等、必要最小限度の項目と額に抑えられているため。)</p> <p>【指標数値の評価】公立保育所全園で実施することにより、地域ごとの事情に対応したきめ細やかな支援に取り組むことができているが、指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。</p> <p>【今後の方向性】平成30年度は、保育園1園を幼保連携型認定こども園に移行したことにより、目標値の設定を下けているが、今後、事業成果の目標を達成するためには、活動手段や方法を改善し、より多くの保護者の利用につながる環境づくりを進める必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	地域子育て支援センター事業	事業区分	その他
事務事業番号	00297				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域子育て支援センターの成果として、育児教室、地域開放行事、育児相談、施設の一部開放等を実施することにより、遊びの提供や仲間づくりなどの支援を通して保護者の子育て不安の軽減と子どもの健やかな成長を支える環境づくりが図られている。また、公立保育所が中心となって、地域ネットワークの構築を図り、市内を12地域に分けた各ブロックで「地域子育て支援関係機関連絡会」を開催している。連携が進むことで、地域の親子についての共通認識が深まり、全地域で運動会の開催や地域新聞の発行等の共同事業にも取り組むことができ、地域全体で子育てを支援する基盤づくりを引き続き図っていきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月11日
20時44分30秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00298	一時預かり事業
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり
細節	21	地域における子育て支援／親と子が共に育つ地域での支援
予算事業	10436	01 03 02 03 06 02 01 一時預かり事業（保育園費）
所属長	北澤 直子	担当者（内線）金場（2581）
根拠法等	吹田市保育所一時預かり事業実施要綱	
事業開始年度	平成22年度	直近の改正 平成30年度
改正内容	吹田市立南千里保育園で新たに実施するための改正。	
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）	

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	保護者の断続的な就労や、育児負担軽減、リフレッシュなどにより、一時的に保育が必要な児童（乳幼児）		
目標	対象児童を公立保育所4か所において、一時的に預かる。		
結果	保護者の断続的な就労を保障する。また、育児負担を軽減することにより、虐待などを未然に防止し、児童の健全な発達を促す。		
事業概要	保護者の就労形態の多様化等に伴い、通常保育の対象とならない断続的・一時的な就労を保障するため、公立保育所4か所で児童の保育を実施する。また、核家族化が進行し、地域の養育力が低下する中、育児疲れによる保護者の心理的・肉体的負担を軽減し、育児の喜びが実感できる環境を整備する。各施設1日6人以内の受入れで、利用時間は午前9時から午後5時（土曜日は正午）まで。利用料金は、利用年度の4月1日現在が3歳未満の児童は2,500円（土曜日は1,250円）、3歳以上の児童は1,500円（土曜日は750円）。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	19,117	20,418	19,085	19,746	26,829
人件費職員数(人)	1.20	1.20	1.20	1.20	1.22
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	9,804	9,480	9,663	9,663	9,693
総事業費(A+B)	28,921	29,898	28,748	29,409	36,522
特定財源(C)	12,693	11,327	13,353	10,282	17,218
国	2,840	2,840	2,840	1,650	4,013
府	2,840	1,580	2,840	1,650	4,013
その他	7,013	6,907	7,673	6,982	9,192
市負担(D)	16,228	18,571	15,395	19,127	19,304
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	16,228	18,571	15,395	19,127	19,304
財源計(C+D)	28,921	29,898	28,748	29,409	36,522

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00298

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延べ利用者数	人	目標値	3,000.00	3,000.00	3,916.00
			実績値	2,606.00	2,592.00	
			達成度(%)	86.90	86.40	
目標値の積算方法	1か所1,000人/年の利用	単位当たりコスト	総事業費(千円)	11.47	11.35	
			一般財源(千円)	7.13	7.38	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	実利用者数	人	目標値	300.00	300.00	391.00
			実績値	325.00	315.00	
			達成度(%)	108.30	105.00	
目標値の積算方法	1か所100人/年の利用	単位当たりコスト	総事業費(千円)	91.99	93.36	
			一般財源(千円)	57.14	60.72	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	設定困難		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	保護者への子育て支援と児童の保育環境の整備
達成状況	地域の子育て支援として、育児負担の軽減が図れた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	本事業については、ニーズの高い事業であるが、待機児童が多い中、私立での一時預かり事業が伸び悩んでいることもあり、地域におけるニーズ把握に努め、市域における適正な配置を見極めたくて、公立保育所での事業を拡充する必要がある。平成30年度には南千里保育園で開設し、公立保育所での4園目の実施となった。消耗品費や新規開設に伴う備品購入にあたっては費用の節減に努めており事業費は適切である。

事務事業分析シート

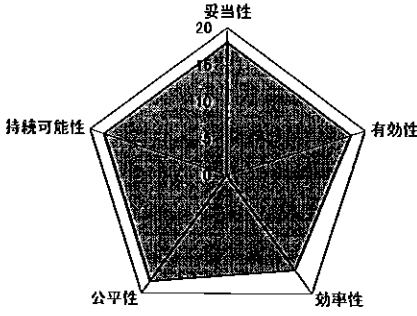
所属名	保育幼稚園室	事業名	一時預かり事業	事業区分	その他
事務事業番号	01416				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年9月から、幼稚園型認定こども園移行対象園の8園については、移行前の準備を行うとともに、就労による長時間保育ニーズに早急に応えるため毎日実施をしている。これにより、子育て支援が充実するとともに、就労している保護者が児童を預ける選択肢の一つとして市立幼稚園が担うことができる。(平成30年度から、一般園においても毎日実施している。)</p> <p>水曜日及び長期休業期間を含む毎日実施をするようになって、日によって勤務時間が異なることなどから、幼稚園教諭又は保育士の確保が困難となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
09時33分50秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00299	休日保育事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	10437	01	03	02	03	07	01	01	休日保育事業（保育園費）
所屬長	北澤 直子			担当者（内線）	金場（2581）				
根拠法令等	吹田市休日保育事業実施要綱								
事業開始年度	平成21年度	直近の改正	平成27年度						
改正内容	利用対象者の拡充に伴う改正。								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	保護者の就労等により、休日に保育を必要とする児童（乳幼児）		
目標	休日に保育を必要とする児童を受入れし、保護者の就労支援と乳幼児の福祉の増進を図る。		
結果	女性の社会進出等が進み、多様化する保育需要に対応することができる。		
事業概要	保護者の就労等により休日に保育を必要とする児童を保育するため、こども発達支援センターにおいて、休日保育を実施する。開室時間は午前8時から午後7時まで。利用時間と年齢区分により2,000円から3,600円の間で利用者負担有り。利用にあたっては事前に登録・申込が必要。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	379	361	379	354	390
人件費職員数(人)	0.05	0.26	0.10	0.20	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	409	2,054	806	1,611	2,384
総事業費(A+B)	788	2,415	1,185	1,965	2,774
特定財源(C)	788	2,402	379	354	2,436
国	0	526	126	116	547
府	0	527	126	116	547
その他	788	1,349	127	122	1,342
市負担(D)	0	13	806	1,611	338
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	13	806	1,611	338
財源計(C+D)	788	2,415	1,185	1,965	2,774

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00299

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	休日保育実施施設数	か所	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	予算数値による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,415.00	1,965.00	
			一般財源(千円)	13.00	1,611.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延べ利用者数	人	目標値	492.00	492.00	492.00
			実績値	492.00	535.00	
			達成度(%)	100.00	108.70	
目標値の積算方法	利用申込み数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4.91	3.67	
			一般財源(千円)	0.03	3.01	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	実利用者数	人	目標値	38.00	38.00	38.00
			実績値	38.00	37.00	
			達成度(%)	100.00	97.40	
目標値の積算方法	利用希望者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	63.55	53.11	
			一般財源(千円)	0.34	43.54	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	平成27年度に子ども・子育て支援法が施行され、休日保育事業が延長保育事業の一つとして位置付けられたため、利用料の設定等が複雑となり、平成26年度まで委託していた私立保育所が事業撤退することとなった。吹田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査結果でも報告されているとおり、休日(年末)保育の需要はあり、0歳児の利用が増えるなど社会的ニーズが高まっている。保護者の就労形態が多様になっていることに伴い、実利用人数も増えていくと予想されるため、事業の継続は必要である。経費節減に努めており、事業費は適正である。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	休日保育事業	事業区分	その他
事務事業番号	00299				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査結果からも、休日(年末)保育の需要はあり、また、0歳児の利用が増えるなど社会的ニーズが高まっていることから、今後も事業を継続する必要がある。平成19年9月からは私立保育所2か所で開催していたが、平成21年度から子ども発達支援センターにおいて直営で実施している。なお、平成22年度からは私立保育所は1か所に減少し、平成26年度末をもって私立保育所での実施は0か所となった。</p> <p>コストについては、公立保育所と子ども発達支援センターのローテーションで職員配置しており、原則振替とすることで、人件費を低く抑える努力をしている。しかし、正職が開設当初に比べ大幅に削減されており、正職の負担が増えている。正職だけのローテーションでの職員配置も限界にきている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月11日
18時32分45秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00303	幼稚園管理運営事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり			
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実			
予算事業	10903	01	10	04 01 03 01 01	幼稚園管理運営事業（幼稚園費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）	仲村（2581）
根拠法令等	吹田市立幼稚園の管理運営に関する規則				
事業開始年度	昭和42年度	直近の改正	平成29年度		
改正内容	創立記念日を開園日とすること、および古江台幼稚園の幼保連携型認定こども園移行に伴う改正。				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	吹田市立幼稚園		
目標	吹田市立幼稚園の適正な事業運営。		
結果	教育施設としての適正な教育環境の整備。		
事業概要	吹田市立幼稚園の運営に必要な経費（教諭の賃金、旅費、研修費用や被服等の購入、認定こども園給食調理業務委託料等）の執行に関する業務を行う。		
実施方法	■ 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	(株) アイコーメディカル
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	認定こども園における給食調理業務
		交付先①	
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	176,771	145,920	193,802	178,271	327,855
人件費職員数(人)	55.17	51.17	57.17	57.17	65.92
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	450,739	404,243	460,333	460,333	523,735
総事業費(A+B)	627,510	550,163	654,135	638,604	851,590
特定財源(C)	93,914	89,318	100,180	113,590	221,046
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	93,914	89,318	100,180	113,590	221,046
市負担(D)	533,596	460,845	553,955	525,014	630,544
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	533,596	460,845	553,955	525,014	630,544
財源計(C+D)	627,510	550,163	654,135	638,604	851,590

所屬	保育幼稚園室
事務事業番号	00303

2頁
平成30年 6月11日
18時32分45秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	吹田市立幼稚園の在園児数(5月1日現在)	人	目標値	1,550.00	1,520.00	1,380.00
			実績値	868.00	899.00	
			達成度(%)	56.00	59.10	
目標値の積算方法	吹田市立幼稚園の受入定員数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	633.83	710.35	
			一般財源(千円)	530.93	584.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	幼稚園の適正な事業運営	達成状況	利用児童にとってより良い教育環境を整えることができた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定。
評価の説明	<p>市立幼稚園を運営していく上で必要であるため、継続する。</p> <p>ただし、入園児童数が定員を大きく下回っている現状を踏まえ、吹田市子ども・子育て支援事業計画の中で、供給と需用のバランスを見極めながら事業のあり方を検討していく必要がある。</p> <p>また、子ども・子育て支援新制度に移行する市内私立幼稚園の移行状況を見極めて、小規模保育施設を利用している児童が3歳児になったときの受入れ先として長時間保育をする幼稚園型認定こども園への移行を進め、平成30年度までに計8園が幼稚園型認定こども園に移行している。</p> <p>事業費については、平成30年度に5園が幼稚園型認定こども園へ移行したことに伴い、給食提供委託料や職員配置に伴う人件費・賃金等を増額しており適切である。</p> <p>なお、平成30年度、1園は幼保連携型認定こども園へ移行している。</p>

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	幼稚園管理運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00303				

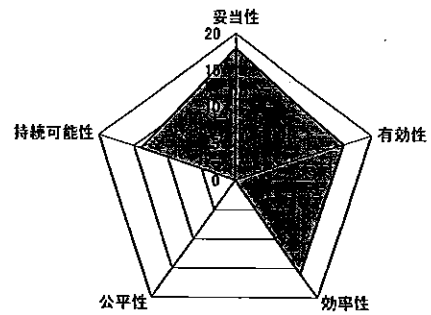
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00303
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>園児童数が定員を大きく下回っている現状を踏まえ、吹田市子ども・子育て支援事業計画の中で、供給と需用のバランスを見極めながら事業のあり方を検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
11時00分10秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00304	私立幼稚園就園奨励費補助金支給事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	23	教育環境の充実／就学・就園の奨励・援助							
予算事業	10907	01	10	04	01	04	01	01	私立幼稚園就園奨励費補助金支給事業（幼稚園費）
所属長	北澤 直子		担当者（内線）加藤 友紀乃（2559）						
根拠法令等	吹田市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱								
事業開始年度	昭和47年度		直近の改正		平成30年度				
改正内容	補助金支給単価を国の基準改正に基づいて改正。								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市内に居住し、私立幼稚園に就園する満3歳児から5歳児の保護者		
目標	保護者の経済的負担の軽減。		
結果	幼稚園教育の一層の普及と充実が図られる。		
事業概要	私立幼稚園が保育料の減免を行う場合、私立幼稚園の受領委任を受け、私立幼稚園児保護者に、各世帯の市民税所得割額に応じ、国の補助金を受けて、就園奨励費補助金を支給する。（平成29年度の一人あたりの支給額は62,200円～308,000円）		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		吹田市民が利用している私立幼稚園	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	546,048	537,664	548,468	548,731	577,006
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,416	3,973
総事業費(A+B)	548,499	540,034	550,884	551,147	580,979
特定財源(C)	145,612	171,346	146,258	174,306	153,868
国	145,612	171,346	146,258	174,306	153,868
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	402,887	368,688	404,626	376,841	427,111
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	402,887	368,688	404,626	376,841	427,111
財源計(C+D)	548,499	540,034	550,884	551,147	580,979

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00304

2頁
平成30年 6月14日
11時00分10秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	私立幼稚園就園奨励費の支給者数	人	目標値	4,029.00	4,077.00	4,078.00
			実績値	4,077.00	4,078.00	
			達成度(%)	101.20	100.00	
目標値の積算方法	前年度の支給実績者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	132.46	135.15	
			一般財源(千円)	90.43	92.41	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	私立幼稚園の在籍児童数(翌年5月1日現在)	人	目標値	5,554.00	5,224.00	5,574.00
			実績値	5,362.00	5,326.00	
			達成度(%)	96.50	102.00	
目標値の積算方法	私立幼稚園の在籍児童数(予算積算時推計)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	100.72	103.48	
			一般財源(千円)	68.76	70.75	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	私立幼稚園就園奨励費補助金の支給は、国庫補助事業として全国で実施されている事業であり、本市でも国の基準に倣い、保護者の経済的負担を軽減し、幼児教育の振興・充実を図るため、現行どおり継続する必要がある。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	私立幼稚園就園奨励費補助金支給事業	事業区分	その他
事務事業番号	00304				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国庫補助事業は、近年拡充傾向にあり、補助単価の上昇、負担割合の軽減などが行われている。</p> <p>なお、平成27年度から施行した子ども・子育て支援新制度では、私立幼稚園についても新たな施設型給付の対象となるが、私立幼稚園については新制度に移行しない選択肢もあり、本市の私立幼稚園のほとんどが新制度に移行していないことから、これまでどおり、保護者の経済的負担を軽減し、幼児教育の振興・充実を図るため、現行どおり継続する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月11日
17時50分10秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00307	公立幼稚園防犯警備協力員配置事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	21	教育環境の充実/教育施設等の充実							
予算事業	10911	01	10	04	01	05	01	01	公立幼稚園防犯警備協力員配置事業（幼稚園費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）	仲村（2581）				
根拠法令等	吹田市防犯警備協力員配置事業実施要項								
事業開始年度	平成13年度	直近の改正	平成25年度						
改正内容	所管が保育幼稚園課へ移管されたことによる改正。								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市立幼稚園		
目標	吹田市立幼稚園での園児の安全を市民と協働して確保する。		
結果	吹田市立幼稚園における安全対策の充実が図られ、園児が安心して園生活を送ることができる。		
事業概要	公立幼稚園児の安全を守る警備活動に資するため、地域住民等の中から選任された無償のボランティアの警備活動に対し、損害賠償保険、活動用消耗品等の経費を支出し、公立幼稚園の安全対策の充実を図る。主に朝の午前9時前から30分程度園の周りを巡回し、危険物、不審者がいないかなどを確認している。（平成15年度に、有償ボランティア制度を廃止した。）		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	無償ボランティア	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	111	105	111	108	110
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	82	79	81	81	80
総事業費(A+B)	193	184	192	189	190
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	193	184	192	189	190
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	193	184	192	189	190
財源計(C+D)	193	184	192	189	190

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00307

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	吹田市立幼稚園全園での実施	園	目標値	16.00	16.00	15.00
			実績値	16.00	16.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	吹田市立幼稚園の施設数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	11.50	11.81	
			一般財源(千円)	11.50	11.81	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	不審者等の侵入・危険物等による事件及び事故の発生防止	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	不審者等の侵入・危険物等による事件及び事故の発生数を0件とする。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>通園時における安全確保の具体的な方策の一つとして、学校の安全管理員の配置と合わせて行うことで、地域での防犯意識を高める効果もあり、今後も継続していくべき事業である。</p> <p>事業費については、損害賠償保険料、活動用消耗品等であり、適正である。</p>

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立幼稚園防犯警備協力員配置事業	事業区分	その他
事務事業番号	00307				

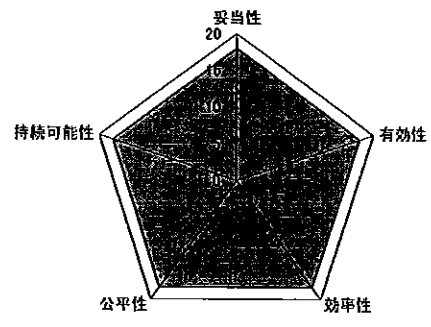
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な指費を徴しており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00307
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>通園時における安全確保の具体的な方策のひとつとして、学校の安全管理員の配置と合わせて行うことで、地域での防犯意識を高める効果もあり、今後も継続していきべき事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月17日
13時19分17秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00308	子育て支援活動事業				
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり				
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり				
細節	21	地域における子育て支援／親と子が共に育つ地域での支援				
予算事業	10915	01	10	04	01 06 01 01	子育て支援活動事業（幼稚園費）
所属長	北澤 直子				担当者（内線）仲村（2581）	
根拠法令等						
事業開始年度	不明	直近の改正				
改正内容						
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他				
対象	市内在住の子育て世代の親子				
目標	公立幼稚園で行う子育て支援活動を強化し、地域の子育てについての教育力を高める。				
結果	子育て支援活動に参加することで交流の場が広がり、育児負担等の保護者の負担軽減が図れる。				
事業概要	市立幼稚園において、未就園児や保護者を対象に、園庭開放、行事参加、子育て講座等、施設を開放し、様々な子育て支援活動を行うことで、地域全体での子育てについての教育力を高める事業を実施している。 行事などへの不特定多数の参加者を対象に、怪我などに備えた傷害・損害賠償保険に加入し、その経費を支出している。				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①			
		委託先②			
		委託先③			
	主な委託内容				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①				
	交付先②				
	交付先③				
<input type="checkbox"/> その他	内容				

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	154	176	154	176	154
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	82	79	81	79	80
総事業費(A+B)	236	255	235	255	234
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	236	255	235	255	234
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	236	255	235	255	234
財源計(C+D)	236	255	235	255	234

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00308

2頁
平成30年 7月17日
13時19分17秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	子育て支援活動数	回	目標値	5,933.00	5,828.00	5,000.00
			実績値	5,828.00	5,552.00	
			達成度(%)	98.20	95.30	
目標値の積算方法	前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.04	0.05	
			一般財源(千円)	0.04	0.05	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	子育て支援活動参加人数		目標値	90,083.00	90,000.00	83,000.00
			実績値	85,120.00	82,855.00	
			達成度(%)	94.50	92.10	
目標値の積算方法	見込み数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		人	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 幼児教育実施機関として、地域の幼児や保護者に施設や機能を開放することにより、保護者の育児負担や不安の軽減を図り、幼児の健全やかな成長を確保する。	達成状況 様々な子育て支援活動に参加してもらうことにより、子育て世代の親の負担軽減が図れた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は適切である。(理由:事業総額は増加しておらず、必要最小限の費用に抑えられているため。)</p> <p>【指標数値の評価】地域ごとの実情に対応したきめ細やかな支援に取り組むことができているが、実績値が減少していることを踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、活動手段や方法を改善する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】核家族化により、子育て支援の必要性がますます高まっている中、地域子育て支援事業は様々な施設または事業主体によって実施されている。市立幼稚園においては、地域の幼児教育実施機関としての役割を果たすため、子育て支援の充実に取り組む必要がある。</p>

事務事業分析シート

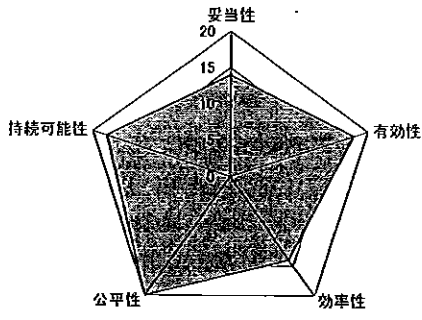
所属名	保育幼稚園室	事業名	子育て支援活動事業	事業区分	その他
事務事業番号	00308				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		b. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>園庭開放、行事参加、子育て講座等、施設を開放し、様々な子育て支援活動を実施することにより、保護者の子育て負担の軽減と子どもの健やかな成長を支える環境づくりが図られている。今後は、幼児教育実践機関として地域全体で子育てを支援する基盤づくりを引き続き図ってきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
20時43分32秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00311	認可外保育施設運営支援事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	11308	01	03	02	01	07	01	01	認可外保育施設運営支援事業（児童福祉総務費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）	木村（2582）				
根拠法令等	吹田市保育所等移行施設運営補助金交付要綱								
事業開始年度	平成26年度	直近の改正	平成27年度						
改正内容	対象児童を3歳児に拡大								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	認可外保育施設		
目標	待機児童数の減少		
結果	待機児童数の減少に寄与する		
事業概要	認可保育所への移行を円滑に進めるため、質の確保された認可外保育施設に対し、補助開始年度から5年以内に限り、運営に要する費用の一部を補助するものとして、待機児童の多い4歳児未満を対象に実施。 認可保育所への移行施設については、0歳児の月額107,000円、1・2歳児の57,000円、3歳児の22,000円を補助するもの。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		認可外保育施設（2箇所）	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	80,042	66,995	56,785	36,237	22,228
人件費職員数(人)	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	409	790	806	806	795
総事業費(A+B)	80,451	67,785	57,591	37,043	23,023
特定財源(C)	60,002	50,235	42,558	27,171	16,641
国	39,844	33,436	28,215	18,083	10,937
府	20,158	16,799	14,343	9,088	5,704
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	20,449	17,550	15,033	9,872	6,382
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	20,449	17,550	15,033	9,872	6,382
財源計(C+D)	80,451	67,785	57,591	37,043	23,023

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00311

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	実施施設数	箇所	目標値	3.00	2.00	1.00
			実績値	3.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	対象となる施設数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	22,595.00	18,521.50	
			一般財源(千円)	5,850.00	4,936.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	入所不可児童数の10%の減	人	目標値	-94.00	-88.00	-87.00
			実績値	-5.00	1.00	
			達成度(%)	5.30	-1.10	
目標値の積算方法	当該年度4月1日時点入所不可児童数の10%の減	単位当たりコスト	総事業費(千円)	-13,557.00	37,043.00	
			一般財源(千円)	-3,510.00	9,872.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	
評価の説明	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定 本事業は、19人以下の小規模保育事業所と20人以上の認可保育所への移行の認可外保育施設に対し実施し、効果として待機児童数の減少があった。 平成27年度から施行する子ども・子育て支援新制度では、小規模保育事業所については地域型保育給付として新たな認可事業に位置づけられ、本事業の対象外となることから、認可保育所への移行施設のみに限定し、縮小して事業を実施した。平成28年度に国の補助要綱の改正に伴い、小規模保育事業等への移行も認められることとなったため、本市においても事業計画において、小規模保育事業への移行も確保方針に位置づけ、事業を実施している。 なお、平成31年4月までに認可保育所に移行する必要があることから、本事業は平成30年度までの見込みである。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	認可外保育施設運営支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	311				

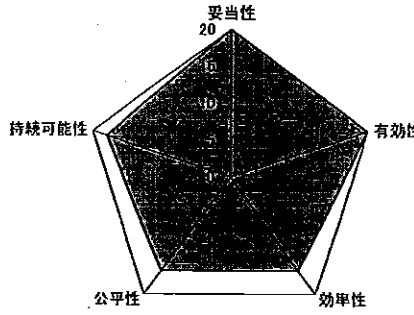
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国が認可施設への移行期間(5年間)の要件緩和を検討していたところだが、本市の対象施設については要件を満たさず適用がないため、当初計画通り平成30年度を最終年度として事業を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月11日
18時24分18秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00312	公立幼稚園保健衛生管理事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	21	教育環境の充実/教育施設等の充実		
予算事業	11355	01	10	04
所屬長	北澤 直子	01	03	01
根拠法令等	吹田市立幼稚園の管理運営に関する規則			
事業開始年度	昭和42年度	直近の改正	平成29年度	
改正内容	創立記念日を開園日とすること、および古江台幼稚園の幼保連携型認定こども園移行に伴う改正。			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	吹田市立幼稚園		
目標	吹田市立幼稚園の適正な事業運営。		
結果	教育施設としての適正な環境整備。		
事業概要	吹田市立幼稚園の運営に必要な経費（児童の負傷等に備える保険加入や保健衛生用品の購入）の執行に関する業務を行う。 公立幼稚園の保健・衛生管理を行うことで、児童の健康の保持増進を図り、快適な園生活を保障する。		
実施方法	■ 直接実施	委託先①	医療法人 橘甲会
	■ 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	尿検査業務
	□ 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	769	654	704	715	892
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	2,384
総事業費(A+B)	2,403	2,234	2,315	2,326	3,276
特定財源(C)	180	179	199	184	208
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	180	179	199	184	208
市負担(D)	2,223	2,055	2,116	2,142	3,068
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,223	2,055	2,116	2,142	3,068
財源計(C+D)	2,403	2,234	2,315	2,326	3,276

所屬	保育幼稚園室
事務事業番号	00312

2頁
平成30年 6月11日
18時24分18秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	公立幼稚園施設数	か所	目標値	16.00	16.00	15.00
			実績値	16.00	16.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	経常的な維持管理が必要な公立幼稚園施設数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	139.63	145.38	
			一般財源(千円)	128.44	133.88	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 公立幼稚園の適切な事業運営	達成状況 公立幼稚園の保健・衛生管理を行うことで、児童の健康の保持増進が図れ、快適な園生活を保障することができた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	児童の健康の保持増進を図り、快適な園生活を保障するための事業であり、市立幼稚園を運営していく上で必要であるため継続する。 事業費については、児童の負傷等に備える保険加入や保健衛生用品の購入等であり適切である。 平成30年度に、1園は幼保連携型認定こども園へ移行している。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立幼稚園保健衛生管理運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00312				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点	
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理	点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理	点	
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	90	③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>児童の健康の保持増進を図り、快適な園生活を保障するため、市立幼稚園を運営していく上で必要であり、今後も継続していく事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月11日
18時41分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00313	公立幼稚園施設管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実							
予算事業	11356	01	10	04	01	03	01	03	公立幼稚園施設管理事業（幼稚園費）
所属長	北澤 直子							担当者（内線）	仲村（2581）
根拠法令等	吹田市立幼稚園の管理運営に関する規則								
事業開始年度	昭和42年度	直近の改正	平成29年度						
改正内容	創立記念日を開園日とすること、および古江台幼稚園の幼保連携型認定こども園移行に伴う改正。								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市立幼稚園		
目標	吹田市立幼稚園の適正な事業運営。		
結果	教育施設としての適正な環境整備。		
事業概要	吹田市立幼稚園の管理・運営に伴う経常的な経費の執行、施設修繕や必要な園具・教具を購入・整備するなど施設管理を行うことで、安全で衛生的な教育環境を維持する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	公益社団法人 吹田市シルバー人材センター
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	環境整備、除草・剪定業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	44,390	43,036	45,596	43,560	37,013
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,416	3,973
総事業費(A+B)	46,841	45,406	48,012	45,976	40,986
特定財源(C)	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
市負担(D)	38,841	37,406	40,012	37,976	32,986
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	38,841	37,406	40,012	37,976	32,986
財源計(C+D)	46,841	45,406	48,012	45,976	40,986

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00313

2頁
平成30年 6月11日
18時41分01秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	公立幼稚園施設数	か所	目標値	16.00	16.00	15.00
			実績値	16.00	16.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	経常的な維持管理が必要な公立幼稚園施設数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,837.88	2,873.50	
			一般財源(千円)	2,337.88	2,373.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
公立幼稚園の適切な施設管理及び事業運営	達成状況 利用児童の処遇改善及教育環境の向上

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	施設修繕や必要な園具・教具を購入・整備するなど施設管理を行うことで、安全で衛生的な教育環境を維持するための事業であり、市立幼稚園を運営していく上で必要であるため、継続する。 修繕料や保育用品及び備品の購入費等、事業費については適切であるが、節約の意識を持ち、備品は原則修理で対応するなど、経費節減に努める。 平成30年度に、1園は幼保連携型認定こども園へ移行している。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立幼稚園施設管理運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00313				

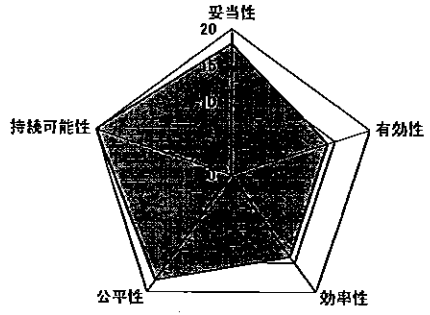
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	14	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標をやや下回る進捗状況である。(3点)	3点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点	
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	84	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設修繕や必要な園具・教具を購入・整備するなど施設管理を行うことで、安全で衛生的な教育環境を維持するため、市立幼稚園を運営していく上で必要であり、今後も継続するべき事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月11日
20時46分23秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00314	発達支援保育事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	22	地域における子育て支援／仕事と子育ての両立支援の推進		
予算事業	11358	01	03	02
03	02	01	02	発達支援保育事業（保育園費）
所属長	北澤 直子		担当者（内線）金場（2581）	
根拠法令等	吹田市発達支援保育実施要領			
事業開始年度	昭和54年度	直近の改正	平成27年度	
改正内容	子ども・子育て支援法施行に伴う改正。			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	保育所における集団保育が適当と認められるおおむね3歳以上の障がい児等で日々通所することができる児童		
目標	他の幼児とともに集団保育することによって発達を援助する。		
結果	発達を援助し、当該児の福祉の増進を図る。		
事業概要	保育所における集団保育が適当と認められるおおむね3才以上の障がい児等を、他の幼児とともに集団保育することにより当該児の発達を支援し、福祉の増進を図る。必要な場合には介助保育士を配置するほか、発達診断を行っている。主に公立保育所を利用しているが、障がいの程度や保護者の希望を考慮し、受入れが可能ならば私立保育所を利用してもらい、発達診断、巡回相談など行っている。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	45,949	55,374	45,934	43,922	48,881
人件費職員数(人)	5.91	5.91	5.91	5.91	4.91
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	48,285	46,689	47,588	47,588	39,010
総事業費(A+B)	94,234	102,063	93,522	91,510	87,891
特定財源(C)	8,071	10,892	8,360	9,074	9,515
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	8,071	10,892	8,360	9,074	9,515
市負担(D)	86,163	91,171	85,162	82,436	78,376
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	86,163	91,171	85,162	82,436	78,376
財源計(C+D)	94,234	102,063	93,522	91,510	87,891

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00314

2頁
平成30年 6月11日
20時46分23秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	発達支援保育制度適用児童数(公立)	人	目標値	105.00	105.00	94.00
			実績値	115.00	121.00	
			達成度(%)	109.50	115.20	
目標値の積算方法	原則1クラス2名以内で、公立保育所の総定員(1,880人)の5%(94人)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	887.50	756.28	
			一般財源(千円)	792.79	681.29	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	発達支援保育制度を適用した新規受け入れ児童数(公立)	人	目標値	54.00	59.00	54.00
			実績値	58.00	60.00	
			達成度(%)	107.40	101.70	
目標値の積算方法	発達支援保育制度申請者のうち公立を第1希望にしている人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,759.71	1,525.17	
			一般財源(千円)	1,571.91	1,373.93	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	設定困難		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	設定困難	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
<p>集団保育を通して、対象児の人間関係、対人面・行動面、知的部分の改善が見られ、発達検査による発達指数(DQ)が伸びる。</p>	<p>達成状況 児童によって程度の差はあるものの、対象児の人間関係、対人面・行動面、知的部分の改善が認められた。</p>

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>発達支援制度を利用する児童がクラスに1~2人、保育所全体の5%を超えると、安全に発達保障を行うことが困難と考えているが、就労要件の児童で、本制度を利用していないが、介助を必要とする児童もいるため、実際に公立保育所の介助を必要とする児童は総定員の約6%に達しており、公立保育所だけで事業を継続していくことは非常に困難な状況となりつつあるため、私立保育所での受入れを促進していく必要がある。</p> <p>保育所の集団保育が持つ発達支援効果について、今後も活用すべき児童の増加が見込まれることから、事業は継続とする。また経費の節減に努めており、事業費は適切である。</p>

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	発達支援保育事業	事業区分	その他
事務事業番号	00314				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	00314
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

早期療育システムの一環として行っている事業であるが、子どもの育ちは数値化しにくく、その観点での評価は難しい。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>費用対効果については、事業の性格上、判断が困難であり、対象児童数やその発達状況などにより、コスト効率は変化し予測は難しい。障がい児数は、年々増加傾向にあり、対人障がいがあるため介助を要する児童も増加している。</p> <p>発達支援保育は集団保育により発達を援助し、児童期以降の障がいの軽減、発達を促す早期障がい児対策の一つとして公的役割が大きい。児童の発達には様々な程度の差があり、療育施設に通所する程ではなくても、なるべく早く集団の中に入れることにより、効果がある場合も多い。児童の発達に不安を持つ保護者にとっても必要な事業であり、私立保育所での受入れを促進していきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月11日
20時39分16秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00315	発達支援保育フォロー事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援／仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	11421	01	03	02	01	08	01	01	発達支援保育フォロー事業（児童福祉総務費）
所属長	北澤 直子				担当者（内線）仲村（2581）				
根拠法令等									
事業開始年度	平成26年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	障がい児など発達上配慮を要する児童が利用している私立保育所		
目標	私立保育所を経験豊富な保育士が巡回し、直接相談を受けながら、児童の発達状況に応じて指導・助言を行う。		
結果	障がい児など発達上配慮を要する児童を支援するとともに、私立保育所での障がい児への理解が深まり、受入れやすい環境を整備することができる。		
事業概要	ノウハウを持った保育士OB（園長等経験者）が私立保育所を巡回し、直接相談を受けながら指導・助言を行うことで障がい児の受入れをフォローしていく。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,354	1,910	2,352	1,910	2,387
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	82	79	81	81	80
総事業費(A+B)	2,436	1,989	2,433	1,991	2,467
特定財源(C)	2,354	1,910	2,352	1,910	2,387
国	0	0	0	0	0
府	2,344	1,910	2,344	1,910	2,381
その他	10	0	8	0	6
市負担(D)	82	79	81	81	80
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	82	79	81	81	80
財源計(G+D)	2,436	1,989	2,433	1,991	2,467

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	00315

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	私立保育所巡回施設数	か所	目標値	18.00	21.00	24.00
			実績値	21.00	24.00	
			達成度(%)	116.70	114.30	
目標値の積算方法	私立保育所での障がい児受入れ施設数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	94.71	82.96	
			一般財源(千円)	3.76	3.38	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	私立保育所での障がい児等受入れ延べ人数	人	目標値	47.00	51.00	64.00
			実績値	51.00	64.00	
			達成度(%)	108.50	125.50	
目標値の積算方法	前年度実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	39.00	31.11	
			一般財源(千円)	1.55	1.27	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 私立保育所を経験豊富な保育士が巡回し、障がい児の受入れ体制を整えるため指導・助言を行う。	達成状況 私立保育所での障がい児への理解が深まり、受入れやすい環境を整備することができた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	■ 拡充 □ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	障がい児の利用数が増加する中、公立保育所での受入れは1か所平均7人で、公立全体の利用児童数に占める割合が5%を超えており、安全に児童の発達保障を行うのが困難な状況である。今後は公立保育所だけでなく、公私問わず多くの保育所で受入れできる体制を整備していく必要があるが、私立保育所で障がい児を受入れるにあたっては、技術や知識の習得に一定の時間を要するため、早急に私立保育所での受入れ環境を整備していくことが重要であり、対策の一つとして引き続き実施していく。 年々、巡回施設数、私立保育所での障がい児の受入れ人数が増加しており、巡回できる経験豊富な保育士を増員する必要があるため、事業費については今後増額を検討する必要がある。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	発達支援保育フォロー事業	事業区分	その他
事務事業番号	00315				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市内の認可保育所での障がい児等の受入れは、公立18か所、私立28か所に対して、全体の65%を公立保育所で受入れている。私立保育所では障がい児を受入れるにあたって、ベテランの保育士が少なく、現時点では障がい児等の保育に係る専門的事業についての相談体制が整っていないため受入れに消極的になっている。しかし、安全な発達保障を行うには、公立保育所での障がい児のさらなる受入れは限界であり、民営化していくことも考えると、私立保育所での障がい児受入れを増やすことが必要となる。</p> <p>本事業だけでなく、私立保育所等への発達支援保育対策費助成の充実や、関係機関との連携強化などにより、障がいのある子どもとその保護者へのより適切な療育を図るため、各機関の連携による療育システムの充実、地域との連携の推進が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

<p>平成26年度に市単独事業として新たに実施してきたが、平成27年度から大阪府の newborn・子育て支援交付金の対象となり、補助率10/10の補助事業となっている。</p>

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月25日
13時19分11秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01413	公立保育所民営化推進事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	11444	01	03	02	01	09	01	01	公立保育所民営化推進事業（児童福祉総務費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）	高木 淳（内線2478）				
根拠法令等	吹田市公立保育所民営化実施計画								
事業開始年度	平成26年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	公立保育所運營業務		
目標	「吹田市公立保育所民営化実施計画」に基づき、平成30年度から3年間で公立保育所5園の民営化を予定している。各園の円滑な民営化実施を目標としている。		
結果	公立保育所5園の民営化によって財源を確保し、さらなる子育て支援施策の充実を進めていく。		
事業概要	「吹田市子ども・子育て支援事業計画」を進めていくにあたり、待機児童の解消等は喫緊の課題となっており、さらなる子育て支援施策を実現させるために多くの財源確保が必要となる。財源確保の必要性と公立保育所のセーフティネット的役割について総合判断したうえで、公立保育所5園を民営化対象園と決定し、円滑な民営化の実施を目指す。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,411	2,368	18,389	15,914	35,126
人件費職員数(人)	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	32,680	31,600	32,208	32,208	31,780
総事業費(A+B)	36,091	33,968	50,597	48,122	66,906
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	36,091	33,968	50,597	48,122	66,906
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	36,091	33,968	50,597	48,122	66,906
財源計(C+D)	36,091	33,968	50,597	48,122	66,906

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01413

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	移管先選定委員会を開催して、民営化対象園2園の移管先事業者選定を行う。すでに移管先事業者が決定している3園については、円滑な引継ぎに向けて三者懇談会を開催していく。	目標	民営化対象園の保護者が抱える不安の解消に努めながら、全園の移管先事業者を決定し、円滑な引継ぎに向けて準備を進める。
成果内容	民営化対象園2園の移管先事業者を決定することができた。すでに移管先事業者が決定している3園については、三者懇談会を継続的に開催しており、円滑な引継ぎに向けた準備を進めている。	達成状況	公立保育所5園の円滑な民営化実施に向けて、計画通り着実に進めることができています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：民営化対象園の保護者が抱える不安を解消しながら、円滑な引継ぎを進めていくために必要な費用であると判断しているため。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当である。</p>	

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立保育所民営化推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01413				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	01413
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>「吹田市子ども・子育て支援事業計画」を進めていくにあたり、待機児童の解消等は喫緊の課題となっており、さらなる子育て支援施策を充実させるために多くの財源確保が必要となる。子育て支援施策を充実させていくための財源確保の手段として、着実に事業を進めていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
18時53分35秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01415	新規参入施設巡回支援事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	11537	01	03	02	01	10	01	01	新規参入施設巡回支援事業（児童福祉総務費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）	仲村（2581）				
根拠法令等									
事業開始年度	平成27年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	新たに小規模保育事業施設を開設した、もしくは開設しようとする事業者		
目標	1年目の小規模保育事業施設等を経験豊富な保育士が巡回し、直接相談を受けながら、保護者対応や保育内容の助言を行う。		
結果	支援体制を充実させることで新たに参入する事業者が安心して保育する環境を整備することができる。また、保育内容の助言等を通じて、保育の質の向上を図ることができる。		
事業概要	小規模保育事業施設等に新規参入する事業者に対し、経験豊富な保育士OBが巡回し、相談・助言を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,138	2,344	5,891	4,840	5,895
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	82	79	81	81	80
総事業費(A+B)	3,220	2,423	5,972	4,921	5,975
特定財源(θ)	2,095	1,826	3,933	3,912	3,933
国	1,041	1,041	1,956	1,956	1,959
府	1,041	779	1,956	1,956	1,959
その他	13	6	21	0	15
市負担(D)	1,125	597	2,039	1,009	2,042
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,125	597	2,039	1,009	2,042
財源計(G+D)	3,220	2,423	5,972	4,921	5,975

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01415

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	巡回施設数	か所	目標値	10.00	28.00	38.00
			実績値	28.00	38.00	
			達成度(%)	280.00	135.70	
目標値の積算方法	新規参入施設数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	86.54	129.50	
			一般財源(千円)	21.32	26.55	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	巡回相談・助言を通して、安心して保育できる環境整備と、保育の質の向上ができる。	達成状況	より質の高い保育水準の維持

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	平成27年度から0～2歳児を対象とした小規模保育事業が始まったが、保育方法や保護者対応等で苦慮することが多く、保育の質を確保する観点から本事業を実施している。また、平成28年4月に「待機児童アクションプラン」が策定され、小規模保育施設が短期間で増加する見込みである。新たに参入する事業者及び2年目以降も支援を必要とする事業者が安心して保育できる環境を整備することを第一の目的とするが、保育内容の相談・助言を通して、より質の高い保育水準を維持する必要がある。 事業費については、臨時雇用員賃金、小規模保育施設への出張旅費等であり適切である。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	新規参入施設巡回支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	01415				

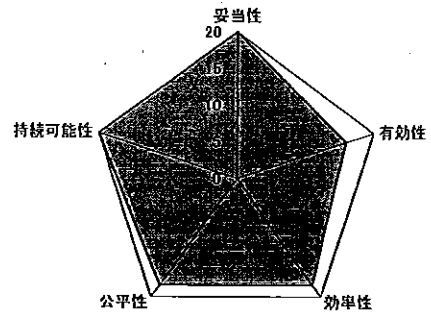
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	01415
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度に小規模保育施設を開設した15か所全て巡回し、SIDS(乳児突然死症候群)対策、保育課程、指導計画、個人カリキュラムの作成、部屋の使い方、個別の発達面での相談、給食・離乳食の進め方・アレルギー対応など多岐にわたる相談等に助言をしている。また、次回訪問時に改善されたかどうかの確認をしている。巡回相談を通して、事業者の不安解消にもなっているし、保育の質の確保にもつながっている。平成31年度までは新たな保育運営事業者が増えていくことが予想されるため、引き続き本事業を継続していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月11日
18時55分57秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01416	一時預かり事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	21	地域における子育て支援／親と子が共に育つ地域での支援		
予算事業	11538	01 10 04 01 06 02 01	一時預かり事業（幼稚園費）	
所属長	北澤 直子		担当者（内線）仲村（2581）	
根拠法令等	吹田市立幼稚園一時預かり事業実施要領			
事業開始年度	平成27年度	直近の改正	平成29年度	
改正内容	幼保連携型認定こども園での事業開始、および認定こども園に移行しない園における実施時間の拡充による改正。			
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市立幼稚園児		
目標	一時預かり保育を希望する園児を教育時間終了後も預かる。		
結果	保護者への子育て支援の充実。		
事業概要	吹田市立幼稚園の教育課程にかかる教育時間の終了後に、保育の必要な園児に一時預かり保育を行う。原則弁当日の月火木金曜日の午後5時まで実施。1回500円。幼稚園型認定こども園及び移行対象園の8園は、水曜日（1回700円）及び長期休業期間（1回1000円）も実施。平成28年度から、認定こども園は午後5時から午後6時まで延長実施しており、1回150円徴収している。平成30年度から、一般園においても水曜日及び長期休業期間も実施している。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	23,380	18,774	23,206	20,511	27,913
人件費職員数(人)	0.20	4.20	4.20	4.20	3.95
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	33,180	33,819	33,819	31,383
総事業費(A+B)	25,014	51,954	57,025	54,330	59,296
特定財源(C)	22,454	19,244	22,189	22,841	23,712
国	6,125	6,493	6,341	6,372	5,507
府	6,125	6,493	6,341	6,569	5,507
その他	10,204	6,258	9,507	9,900	12,698
市負担(D)	2,560	32,710	34,836	31,489	35,584
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,560	32,710	34,836	31,489	35,584
財源計(C+D)	25,014	51,954	57,025	54,330	59,296

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01416

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延べ利用者数	人	目標値	14,608.00	15,776.00	17,623.00
			実績値	15,776.00	17,623.00	
			達成度(%)	108.00	111.70	
目標値の積算方法	前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.29	3.08	
			一般財源(千円)	2.07	1.79	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 保護者への子育て支援と児童の保育環境の整備	達成状況 児童福祉の向上

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>本事業は子育て支援事業ではあるが、幼稚園型認定こども園及び移行対象園については、就労による長時間保育ニーズに応えるため毎日実施をしている。</p> <p>平成30年度より、一般園においても、保護者の子育て支援の充実を図り、増大・多様化する保育ニーズに対応するため毎日実施している。</p> <p>事業費については、平成30年度より一般園の実施時間の拡充に伴い、賃金等増額しており適切である。</p>

事務事業分析シート

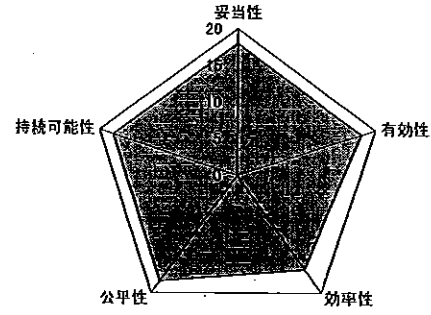
所属名	保育幼稚園室	事業名	一時預かり事業	事業区分	その他
事務事業番号	01416				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年9月から、幼稚園型認定こども園移行対象園の8園については、移行前の準備を行うとともに、就労による長時間保育ニーズに早急に応えるため毎日実施をしている。これにより、子育て支援が充実するとともに、就労している保護者が児童を預ける選択肢の一つとして市立幼稚園が担うことができる。(平成30年度から、一般園においても毎日実施している。)</p> <p>水曜日及び長期休業期間を含む毎日実施をするようになって、日によって勤務時間が異なることなどから、幼稚園教諭又は保育士の確保が困難となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
22時55分53秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01417	一時預かり事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進		
予算事業	11540	01	03	02 01 11 01 01
所属長	北澤 直子		一時預かり事業（児童福祉総務費） 担当者（内線）加藤 友紀乃（2559）	
根拠法令等	吹田市幼稚園型一時預かり事業助成金交付要領			
事業開始年度	平成27年度	直近の改正	平成29年度	
改正内容	長期休業日の基本分単価について、新たな単価設定。			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	新制度に移行した私立幼稚園・認定こども園		
目標	一時預かり保育を希望する園児を基本教育時間終了後も預かる。		
結果	保護者への子育て支援の充実。		
事業概要	基本教育時間を含む8時間以内の在園児の一時預かり保育を行う場合、国の基準に基づき1人400円/日、長期休業日（8時間未満）1人400円/日、長期休業日（8時間以上）1人800円/日、土・日曜日・祝日での8時間以内の場合は1人800円/日を助成する。また、基本教育時間を含む8時間を超える場合は、長時間加算（8時間を超えた利用が2時間未満1人100円/日、2時間以上3時間未満1人200円/日、3時間以上1人300円/日）として超えた時間に応じて助成する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	認定こども園、新制度移行私立幼稚園
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	10,335	2,715	11,840	1,997	5,369
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	11,152	3,505	12,646	2,803	6,164
特定財源(C)	6,890	1,810	7,892	1,331	3,578
国	3,445	905	3,946	665	1,789
府	3,445	905	3,946	666	1,789
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,262	1,695	4,754	1,472	2,586
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,262	1,695	4,754	1,472	2,586
財源計(C+D)	11,152	3,505	12,646	2,803	6,164

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01417

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市内の実施施設数	箇所	目標値	8.00	10.00	10.00
			実績値	2.00	1.00	
			達成度(%)	25.00	10.00	
目標値の積算方法	市内の対象施設数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,752.50	2,803.00	
			一般財源(千円)	847.50	1,472.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市内実施施設の基本分の延利用児童数	人	目標値	11,250.00	14,500.00	0.00
			実績値	2,662.00	227.00	
			達成度(%)	23.70	1.60	
目標値の積算方法	予算積算資料の市内基本分の延利用児童数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.32	12.35	
			一般財源(千円)	0.64	6.48	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	本事業は新制度移行私立幼稚園や認定こども園の在園児に対する子育て支援事業であり、長時間保育ニーズに応えるため、国事業に基づき実施している。指標数値の評価を踏まえると、市内施設においては目標とする効果が出ていないが、市外施設で一時預かりを利用する吹田市在住の児童も多く存在する。私立幼稚園の認定こども園化等により、今後も一時預かり事業へのニーズが高まることから、継続して実施すべきである。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	一時預かり事業	事業区分	その他
事務事業番号	1417				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	1417
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>平成27年度から施行した子ども・子育て支援新制度に移行した私立幼稚園や認定こども園の1号認定こどもの預かり保育に係る費用について助成することにより、幼稚園での長時間保育ニーズに応えることとなっている。</p> <p>今後、旧制度の私立幼稚園からの認定こども園化を含め、対象施設・児童が増えていくことから本事業については増加していくものと考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月12日
22時55分06秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01418	小規模保育卒園児受入臨時助成事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	23	教育環境の充実／就学・就園の奨励・援助		
予算事業	11542	01	10	04
所属長	北澤 直子	01	04	02
根拠法令等	小規模保育卒園児受入臨時助成事業補助金交付要領			
事業開始年度	平成27年度	直近の改正	平成29年度	
改正内容	平成29年度以降継続実施するため、本事業要領を改正。また、補助申請から補助金額請求までの運用について、実際の業務順序に基づく条項整備。			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	小規模保育事業所を卒園した児童のうち、新制度に移行しない旧制度の私立幼稚園に入園した児童		
目標	3歳児の待機児童の解消		
結果	3歳児の保育の保障		
事業概要	平成27年度から施行している新制度による新たな認可事業である小規模保育事業については、0～2歳児までの保育を実施する第2種社会福祉事業で、3歳児からの受け皿の確保が必要となるものの、認可保育所の3歳児からの受け入れについては枠がほとんどないことから、認定こども園での受け入れを進めていく必要がある。しかし、私立幼稚園の認定こども園化が進まないなか、当面の間は旧制度での私立幼稚園での受け入れを進める必要があるものの、入園料の負担が大きいことから、入園料の一部を助成することで受け入れの促進を図る。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		小規模保育事業所卒園児受入私立幼稚園	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,005	1,726	5,429	2,822	7,120
人件費職員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	409	395	403	403	398
総事業費(A+B)	4,414	2,121	5,832	3,225	7,518
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,414	2,121	5,832	3,225	7,518
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,414	2,121	5,832	3,225	7,518
財源計(C+D)	4,414	2,121	5,832	3,225	7,518

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01418

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	受入施設数	箇所	目標値	16.00	16.00	16.00
			実績値	7.00	9.00	
			達成度(%)	43.80	56.30	
目標値の積算方法	旧制度の私立幼稚園	単位当たりコスト	総事業費(千円)	303.00	358.33	
			一般財源(千円)	303.00	358.33	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	補助対象児童数	人	目標値	45.00	61.00	158.00
			実績値	20.00	34.00	
			達成度(%)	44.40	55.70	
目標値の積算方法	予算積算児童数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	106.05	94.85	
			一般財源(千円)	106.05	94.85	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	小規模保育事業所の卒園児が旧制度の私立幼稚園に入園することに対する入園料を助成することで、一定の児童数が私立幼稚園へ入園することにより、待機児童対策に寄与したものとする。 現在は、平成31年度までの事業としているが、平成32年度以降の実施の必要性を3歳児の受皿確保の状況を見ながら検討していく。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	小規模保育卒園児受入臨時助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	1418				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	14	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている、又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	84	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	1418
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度から施行した子ども・子育て支援新制度において、小規模保育事業所を卒園した児童の受け入れについては喫緊の課題であることから、旧制度の私立幼稚園に入園した際の入園料を一部助成することにより、3歳児からの受け皿の確保を進めることができる。平成30年度からは、新たに事業所内保育事業所を卒園した児童が発生したことにより、補助対象児童数も増える見込みである。また、事業の効果を高めるために実施、広報の方法等について検討する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
22時57分06秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01419	教育・保育施設安全対策助成事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	41	子どもの視点に立ったまちづくり/安心・安全なまちづくりの推進							
予算事業	11586	01	03	02	01	13	01	01	教育・保育施設安全対策助成事業（児童福祉総務費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）	宮田 晋吾（2559）				
根拠法令等	吹田市私立保育所等安全対策事業補助金交付要領								
事業開始年度	平成27年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	教育・保育施設（私立保育所・私立認定こども園・私立幼稚園）の利用児童及び保護者		
目標	教育・保育施設において、不審者の侵入防止及び利用児童の安全確保を図るための警備員等を配置する。		
結果	教育・保育施設における安全対策の充実と促進を図ることができる。		
事業概要	市内の教育・保育施設が不審者の侵入防止及び利用児童の安全確保を図るために、正門等における監視や来園者の用件確認及び受付、また緊急時の職員への連絡を行う警備員やシルバー人材センター登録者による安全管理員の配置に係る経費に対して、2分の1を乗じて得た額（開園日数が289日以上であり、かつ1日の開園時間が8時間以上の施設は上限678,000円、それ以外の施設は上限385,000円）を助成する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		教育・保育施設	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	10,986	10,796	12,342	11,416	12,057
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	11,803	11,586	13,148	12,222	12,852
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	11,803	11,586	13,148	12,222	12,852
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,803	11,586	13,148	12,222	12,852
財源計(G+D)	11,803	11,586	13,148	12,222	12,852

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01419

2頁
平成30年 6月14日
22時57分06秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	実施施設数	箇所	目標値	21.00	22.00	25.00
			実績値	22.00	23.00	
			達成度(%)	104.80	104.50	
目標値の積算方法	機械整備以外に人的な安全対策を必要としている施設数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	526.64	531.39	
			一般財源(千円)	526.64	531.39	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	不審者の侵入件数	人	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	0人	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 成果内容としては、不審者等による事件の防止を目標値とし、不審者等の侵入件数を指標内容としているが、目標値、実績値ともに0人。	達成状況 不審者等の侵入を未然に防ぐ効果があり、達成している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	人の目による抑止効果は大きなものがあると考えており、今後も警備員等の配置は必要であると考えている。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	教育・保育施設安全対策助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	1419				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	80	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>人の目による抑止効果は大きなものがあると考えており、今後も警備員等の配置は必要であると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
22時58分55秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01420	特定教育・保育施設等運営助成事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	11604	01	03	02	13	01	01	01	特定教育・保育施設等運営助成事業（特定教育・保育施設等助成費）
所属長	北澤 直子		担当者（内線）北村 翔太（2794）						
根拠法令等	吹田市特定教育・保育施設等運営助成金要領								
事業開始年度	平成27年度	直近の改正	平成29年度						
改正内容	平成29年4月から2人目の予備保育士を配置している施設に対して助成を追加した。また、発達支援保育対策費助成等の人件費に係る部分について助成基準額を改正した他、宿舍借上げ対象者の年限を10年に延長した。								
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	特定教育・保育施設、地域型保育事業		
目標	国の子ども・子育て支援交付金等や市の単独補助など、各種事業の経費を助成することで、特定教育・保育施設等における教育・保育内容の充実を図る。		
結果	特定教育・保育施設等の教育・保育内容の充実と乳幼児の福祉の増進を図る。		
事業概要	国の定める公定価格分以外の経費に係る様々な事業の助成を国及び府の補助を受けて、11時間を超えて保育の実施を行う延長保育を実施するための保育士配置等の経費を助成する「延長保育対策費」など、児童や保育士の処遇改善に対する助成を実施する。また、本市の単独補助では、障がい児等の受入れによる保育士加配等の経費を助成する「発達支援保育対策費」など、児童や保育士の処遇改善に対する助成を実施する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		特定教育・保育施設等	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	341,129	322,007	432,824	383,343	531,328
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	345,214	325,957	436,850	387,369	535,301
特定財源(C)	57,590	56,033	90,822	64,873	111,806
国	32,065	32,327	49,884	42,225	71,680
府	25,525	23,706	40,938	22,648	40,126
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	287,624	269,924	346,028	322,496	423,495
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	287,624	269,924	346,028	322,496	423,495
財源計(C+D)	345,214	325,957	436,850	387,369	535,301

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01420

2頁
平成30年 6月14日
22時58分55秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	特定教育・保育施設等助成対象箇所数	箇所	目標値	47.00	69.00	79.00
			実績値	47.00	44.00	
			達成度(%)	100.00	63.80	
目標値の積算方法	年度当初の特定教育・保育施設等箇所数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6,935.26	8,803.84	
			一般財源(千円)	5,743.06	7,329.45	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	私立の特定教育・保育施設等の2・3号認定子ども対象利用児童数 各年度4月1日現在	人	目標値	3,464.00	4,021.00	4,551.00
			実績値	3,628.00	4,122.00	
			達成度(%)	104.70	102.50	
目標値の積算方法	私立の2・3号認定子ども認可定員数 各年度4月1日現在	単位当たりコスト	総事業費(千円)	89.84	93.98	
			一般財源(千円)	74.40	78.24	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	保護者が要望する特定教育・保育サービスが多様化しているなか、多様な保護者のニーズに応え、私立保育所等が実施する事業を助成し、児童や保育士の処遇改善を行うことで、教育・保育内容の充実と乳幼児の福祉の増進を図ることから、本事業については継続して実施する。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	特定教育・保育施設等運営助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	1420				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	1420
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市は、特定教育・保育の費用として私立保育所や認定こども園・小規模保育事業所・新制度に移行した私立幼稚園へ施設型給付費等を支弁している。しかし、11時間を超えて預かる延長保育など、保護者が要望する特定教育・保育サービスも多様化している。このような保護者のニーズに応え、私立保育所等が実施する事業を助成することで、私立保育所等の利用児童も公立施設と同様のサービスを受けることができる。</p> <p>また、保育所等利用希望者が増加しており、本事業に対する需要は増加傾向にある。そのため、今後も事業費の増大は見込まれるが、それに応じて国・府負担額も増大する。今後も、多様な特定教育・保育のニーズに対応していくため、本事業については継続して実施していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
23時00分05秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01421	施設型・地域型保育給付事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	11605	01	03	02	14	01	01	01	施設型・地域型保育給付事業（施設型・地域型保育給付費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）	北村 翔太（2794）				
根拠法令等	子ども・子育て支援法第27条								
事業開始年度	平成27年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	特定教育・保育施設、地域型保育事業		
目標	教育・保育の実施に係る費用を支弁することにより、特定教育・保育施設等の適正な教育・保育運営を実施してもらう。		
結果	特定教育・保育施設等の適正な教育・保育の実施		
事業概要	特定教育・保育施設等を利用する児童について、国の公定価格に基づき、教育・保育運営の費用を施設型・地域型保育給付により特定教育・保育施設等へ支弁する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	特定教育・保育施設等へ扶助費により支弁	

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,391,293	4,315,480	5,326,639	5,196,780	5,971,862
人件費職員数(人)	0.80	0.80	0.80	0.80	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	6,536	6,320	6,442	6,442	15,890
総事業費(A+B)	4,397,829	4,321,800	5,333,081	5,203,222	5,987,752
特定財源(C)	2,979,802	3,046,428	3,547,116	3,454,503	3,840,861
国	1,515,687	1,492,517	1,856,699	1,783,963	1,996,211
府	789,034	772,128	966,612	923,022	1,034,806
その他	675,081	781,783	723,805	747,518	809,844
市負担(D)	1,418,027	1,275,372	1,785,965	1,748,719	2,146,891
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,418,027	1,275,372	1,785,965	1,748,719	2,146,891
財源計(C+D)	4,397,829	4,321,800	5,333,081	5,203,222	5,987,752

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01421

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	特定教育・保育施設等利用児童数 (各年度4月1日現在)	人	目標値	3,813.00	4,917.00	5,225.00
			実績値	4,031.00	4,204.00	
			達成度(%)	105.70	85.50	
目標値の積算方法	予算積算資料の利用児童数(総人数÷12か月)で積算	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,072.14	1,237.68	
			一般財源(千円)	316.39	415.97	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		人	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	特定教育・保育施設等の適正な運営を図る。	達成状況	特定教育・保育施設等において給付内容に沿った適正な運営ができています。

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	子ども・子育て支援法に基づき、市が特定教育・保育施設等の利用児童に対し、国が定める公定価格に基づいて市から施設等へ支弁する義務がある。 本事業については、私立幼稚園の認定子ども園化や保育の確保方策により、今後も事業費が増大していくが、継続して実施することが必要である。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	施設型・地域型給付保育事業	事業区分	その他
事務事業番号	1421				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	88	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	1421
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>女性の積極的な社会進出や大規模マンション開発などによる人口の流入に伴い、保育所等利用希望者が増加しており、今後もこの傾向は続くと思われる。このことにより施設型・地域型保育給付費の支弁額が増加し、国・府の負担金も増加するが、今後も引き続き継続して実施していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
23時01分31秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01422	保育対策事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援／仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	11606	01	03	02	14	02	01	01	保育対策事業（施設型・地域型保育給付費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）	北村 翔太（2794）				
根拠法令等	吹田市私立保育所等委託料支給要領								
事業開始年度	昭和46年度	直近の改正	平成27年度						
改正内容	認定こども園も対象施設に追加								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市が保育の実施を委託する私立保育所、認定こども園		
目標	児童の処遇改善を行うにあたり必要とする経費を支弁することにより、私立保育所等の運営と保育内容の充実を図る。		
結果	私立保育所等の利用児童の処遇の改善		
事業概要	国制度に基づく施設型給付費の公定価格は、最低基準（児童の年齢等から区分される1日11時間の保育費用）から積算されており、実際の保育費用とは乖離しているため、その差を補完する必要がある。また、本事業は施設の利用枠拡大に係る職員人件費についても対象経費として支給しており、待機児童対策にも寄与している。さらに、平成27年度から私立保育所運営費助成事業から給食費助成を移行し、給食対策費を創設し、アレルギー対応を含めた給食に係る保育内容の充実を図る。これらを目的として、保育対策費を3歳未満児に月額10,000円、3歳以上児に月額5,000円、給食対策費を3歳以上児に月額1,000円支給している。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	私立保育所、私立認定こども園
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	保育を必要とする児童の保育
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	325,800	325,707	354,680	336,628	389,914
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	328,251	328,077	357,096	339,044	392,298
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	328,251	328,077	357,096	339,044	392,298
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	328,251	328,077	357,096	339,044	392,298
財源計(G+D)	328,251	328,077	357,096	339,044	392,298

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01422

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保育対策費委託保育所等利用児童数 (各年度4月1日現在)	人	目標値	3,509.00	3,821.00	4,196.00
			実績値	3,526.00	3,592.00	
			達成度(%)	100.50	94.00	
目標値の積算方法	予算積算資料の利用児童数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	93.05	94.39	
			一般財源(千円)	93.05	94.39	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		人	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	私立保育所等の適正な運営と保育内容の充実を図ることができる。
	達成状況 私立保育所等において、施設の適正な運営や利用児童の処遇の向上に繋がっている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	国の定める公定価格は、実際の保育費用と乖離しているため、その差を補完することを目的として保育対策事業を支給しており、私立保育所等の保育内容をより充実させるとともに、引き続き利用児童の処遇改善を図るため、本事業を継続する必要がある。また、本事業は施設の利用率拡大に係る職員人件費についても対象経費として支給しており、待機児童対策にも寄与している。 なお、府内特例市及び北摂各市においても、同様の目的で同水準の支出を行っている。

事務事業分析シート

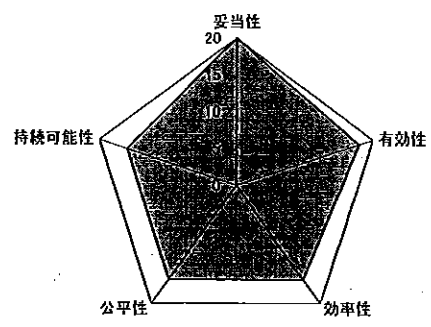
所属名	保育幼稚園室	事業名	保育対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	1422				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>女性の積極的な社会進出や大規模マンション開発などによる人口の流入に伴い、保育所利用希望者が増加しており、今後もこの傾向は続くと思われる。このことにより保育対策事業の支給額が増加している。また、保育対策事業については施設型給付費と実際の保育費用との差を補完する目的で支出しているものであり、府内特例市及び北摂各市においても同様の目的で支出を行っている。 今後も質の高い保育の実施に必要な事業であることから、本事業については継続して事業を進める。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月17日
17時14分11秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01423	システム保守事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	22	地域における子育て支援／仕事と子育ての両立支援の推進		
予算事業	11607	01	03	02
所属長	北澤 直子	01	14	01
根拠法令等	システム保守事業（児童福祉総務費） 担当者（内線）真殿 麻由香（2559）			
事業開始年度	平成27年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	保育幼稚園室内のシステムのハード・ソフトウェア		
目標	保育幼稚園室内のシステムのハード・ソフトウェアの保守・管理		
結果	保育幼稚園室内のシステムのハード・ソフトウェアの保守・管理によるスムーズな事業の実施		
事業概要	保育幼稚園室内のサーバ・クライアントシステムのハードウェアの保守・管理やサーバにインストールしている各事業用ソフトウェアの保守・管理についての委託契約を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	日本事務器株式会社等
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	保育幼稚園室のシステムの保守・管理業務
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,865	6,006	3,865	3,547	5,941
人件費職員数(人)	0.01	0.31	0.01	0.11	0.11
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	82	2,449	81	886	874
総事業費(A+B)	3,947	8,455	3,946	4,433	6,815
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,947	8,455	3,946	4,433	6,815
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,947	8,455	3,946	4,433	6,815
財源計(C+D)	3,947	8,455	3,946	4,433	6,815

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01423

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	保育幼稚園室内のシステムのハード・ソフトウェアの保守・管理	目標	システムの大きな障害の発生がないこと。
成果内容	システムの効率的な運用が可能となり、効率的な事務運営ができる。	達成状況	大きな障害は発生していない。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>保育幼稚園室のサーバ・クライアントによるハードウェアは平成25年度に更新しており、当面の間は、現行システムによる運用をしていく。</p> <p>また、各事業のソフトウェアについても継続して実施していくことから、本事業については引き続き実施していく必要がある。</p> <p>なお、現行の子ども・子育て支援システムが平成31年度末にサポート終了を迎えることに伴い、業務が増大する中、効率化を図るため共通基盤システム上での運用への切替え、現行システムでは対応できない業務のシステム化を図るため、システムの再構築を実施して予定である。</p>		

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	システム保守事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	1423				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	90	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保育幼稚園室内にあるクライアントサーバによるシステムのハード・ソフトウェアの保守・管理については、システムを継続的・安定的に運用するためには必要であることから、本事業については継続して実施する必要がある。</p> <p>なお、現行の子ども・子育て支援システムが、平成31年度末でサポート終了となることから、より高い品質の業務システム再構築を実施し、業務の改善を図る予定である。なお、再構築後のシステムは、コストやセキュリティ面から全庁的に利用が推奨される共通基盤システムにおいて運用する方針である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
13時27分44秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01425	賃貸物件に係る保育所改修等支援事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進		
予算事業	11650	01	03	02
所属長	北澤 直子	01	06	02
根拠法令等	吹田市私立保育施設開設準備に係る建物改修等事業助成金交付要綱			
事業開始年度	平成27年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	国の補助要綱改正に伴う補助基準額の変更			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	賃貸物件の改修により認可保育所の創設を行う株式会社等		
目標	認可保育所の創設		
結果	待機児童の解消		
事業概要	賃貸物件の改修により認可保育所を創設する株式会社等に対し、市が改修費等の一部を助成し、保育の受け入れ枠の増加を図る。なお、平成29年度は千里山・佐井寺地域で1か所の私立保育所を創設。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		株式会社ベル企画	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	40,500	48,000	0	24,000	0
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	0	0	0
総事業費(A+B)	41,317	48,790	0	24,000	0
特定財源(C)	36,000	42,667	0	21,333	0
国	0	42,667	0	21,333	0
府	36,000	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,317	6,123	0	2,667	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,317	6,123	0	2,667	0
財源計(C+D)	41,317	48,790	0	24,000	0

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01425

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	私立保育所の箇所数 (私立保育所から移行した認定こども園を含む)	箇所	目標値	3.00	3.00	11.00
			実績値	3.00	3.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	子ども・子育て支援事業計画に基づく確保が必要な私立保育所の箇所数(私立保育所から移行した認定こども園を含む)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	16,263.33	8,000.00	
			一般財源(千円)	2,041.00	889.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保育所等の利用児童数(翌年4月1日現在)	人	目標値	5,479.00	5,679.00	7,424.00
			実績値	6,532.00	6,886.00	
			達成度(%)	119.20	121.30	
目標値の積算方法	増加する定員数の2/3を前年度の目標値に対して増加させる	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.47	3.49	
			一般財源(千円)	0.94	0.39	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	子ども・子育て支援事業計画に基づき、平成31年度までに待機児童を解消するための確保方を策定し、計画的に私立保育所等の創設を進めている。また、平成28年度からは、待機児童解消アクションプランにより、より具体的な目標をもって、保育所の創設に取り組んでいるものである。本事業は、私立保育所整備費助成事業とともに保育所の創設を推進していくための手段の一つであり、継続的に実施していく必要があるものである。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	賃貸物件に係る保育所改修等支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	1425				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	1425
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>昨年度から引き続き、本事業により利用児童数が増加し、待機児童数の減少に寄与しており、待機児童対策として一定の成果を挙げているといえる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
22時30分19秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01495	システム改修事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進		
予算事業				
所属長	北澤 直子	担当者 (内線)	真殿 麻由香 (2559)	
根拠法令等				
事業開始年度	平成27年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部 (上乗せ、横出し等あり) ○ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	保育幼稚園室内のクライアント・サーバのシステム等		
目標	保育幼稚園室内のクライアント・サーバのシステム内のソフトウェア及び付随するシステムのソフトウェア等を各制度改正等に対応させることやハードウェアの更新・増設する。		
結果	保育幼稚園室内のクライアント・サーバのシステム内のソフトウェア及び付随するシステムのソフトウェア等を各制度改正等に対応させることやハードウェアの更新・増設により、スムーズな業務の履行が可能になる。		
事業概要	保育幼稚園室内のクライアント・サーバのシステム内のソフトウェア及び付随するシステムのソフトウェア等を児童福祉法・子ども子育て支援法などの法令改正や保育料の見直しなどに対応させることやハードウェアの更新・増設のため、委託契約等を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	日本事務器株式会社等
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	保育幼稚園室内のシステム改修
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	13,419	13,221	4,038	4,038	7,409
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.01	0.10	0.10
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	13,419	13,221	4,038	4,038	7,409
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	13,419	13,221	4,038	4,038	7,409
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	13,419	13,221	4,038	4,038	7,409
財源計(G+D)	13,419	13,221	4,038	4,038	7,409

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01495

2頁
平成30年 6月 7日
22時30分19秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	各制度改正等に対応するため、保育幼稚園室内のハードウェアの更新・増設やソフトウェア等を改修を実施する。	目標	各制度改正のスケジュールまでにシステム改修を実施していく。
成果内容	各制度改正等に対応することで、効率的な事務運営が可能になる。	達成状況	全ての業務に対してシステム改修が行われた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>保育幼稚園室内のクライアント・サーバのシステム内のソフトウェア及び付随するシステムのソフトウェア等を児童福祉法・子ども子育て支援法などの法令改正や保育料の見直しなどに対応させることが、円滑な事務執行には不可欠であるため、継続して実施する必要がある。</p> <p>ただ、現行の子ども・子育て支援システムは、平成31年度末にサポートが終了することに伴い、共通基盤システム上での運用への切替え、現行システムでは対応できていない業務のシステム化を図るため、システムの再構築を実施していく予定である。</p>		

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	システム改修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	1495				

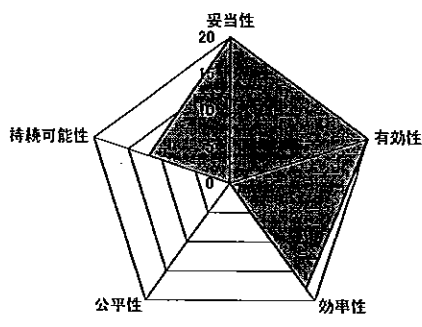
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>現行システムを円滑に運用するため、児童福祉法・子ども子育て支援法などの法令改正や保育料の見直しなどにシステムを対応させていくことが必要不可欠であり、毎年度何とか対応できている。</p> <p>なお、現行の子ども子育て支援システムが、平成31年度末でサポート終了となることから、より高い品質の業務システム再構築を実施し、業務の改善を図る予定である。なお、再構築後のシステムは、コストやセキュリティ面から全庁的に利用が推奨される共通基盤システムにおいて運用する方針である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月12日
23時06分33秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01676	保育所設置認可事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進		
予算事業				
所属長	北澤 直子	担当者(内線)大丸(内線2582)		
根拠法令等	児童福祉法、大阪府福祉行政事務に係る事務処理の特例に関する条例			
事業開始年度	平成28年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input checked="" type="radio"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	保育所の認可を申請する設置者		
目標	保育所の設置認可		
結果	保育所における受け入れ児童数の増加		
事業概要	児童福祉法の規定に基づき、保育所の設置認可等に関する事務を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	86	26	86	34	86
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	86	26	86	34	86
特定財源(C)	86	26	86	34	86
国	0	0	0	0	0
府	86	26	86	34	86
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	86	26	86	34	86

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01676

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保育所の設置認可の件数	回	目標値	2.00	6.00	13.00
			実績値	3.00	4.00	
			達成度(%)	150.00	66.70	
目標値の積算方法	子ども・子育て支援事業計画の保育の確保方策における保育所の整備箇所数(民営化によるものを含む)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	8.67	8.50	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保育所等利用児童数(翌年4月1日現在)	箇所	目標値	5,479.00	5,679.00	7,424.00
			実績値	6,532.00	6,886.00	
			達成度(%)	119.20	121.30	
目標値の積算方法	増加定員の2/3の利用児童数増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	保育所の設置認可等の権限を大阪府から移譲されており、児童福祉法に基づき実施する必要がある。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	保育所設置認可事業	事業区分	その他
事務事業番号	1676				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	1676
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

保育所の設置認可を行う際には、児童福祉審議会の意見聴取が児童福祉法において定められているため、保育所の創設を進めていく中では必須の事業である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保育所の設置認可等の権限を大阪府から移譲されており、児童福祉法に基づき実施する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

大阪府の移譲事務交付金により財源を確保しているが、中核市への移行後は当該交付金の交付はなく、地方交付税措置になる事務である。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
11時02分16秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01684	高野台小学校内保育施設設置事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進		
予算事業				
所属長	北澤 直子	担当者(内線)	木村(2582)	
根拠法令等				
事業開始年度	平成28年度	直近の改正		
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input type="radio"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	保育所の利用を希望する児童		
目標	本施設を利用した保育所の利用		
結果	待機児童を解消する		
事業概要	平成31年度には高野台小学校の敷地に建設が必要とされている留守家庭育成室用の施設をリース物件として前倒して建設する。平成29年4月からの2年間は、増大する保育所入所待機児童に対する緊急的な対応として、保育幼稚園室が3歳以上児の保育施設として利用する。なお、計上している予算は建物のリース費用である。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	7,534	7,456	7,457
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.10	0.10	0.05
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	7,534	7,456	7,457
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	7,534	7,456	7,457
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	7,534	7,456	7,457
財源計(C+D)	0	0	7,534	7,456	7,457

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01684

2頁
平成30年 6月14日
11時02分16秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保育所の認可定員数	人	目標値	60.00	60.00	60.00
			実績値	60.00	60.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	待機児童解消アクションプランに基づく確保量	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	124.27	
			一般財源(千円)	0.00	124.27	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	翌年4月1日における当該保育施設の利用児童数	人	目標値	30.00	60.00	60.00
			実績値	23.00	38.00	
			達成度(%)	76.70	63.30	
目標値の積算方法	当該保育施設の利用見込児童数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	196.21	
			一般財源(千円)	0.00	196.21	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	本事業は、待機児童解消アクションプランの一環として、高野台留守家庭児童育成室用の建物を前倒して建設し、その前半の2年間を保育所として活用するものであるため、保育幼稚園室の事業としては平成30年度までの期間限定で実施するものである。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	高野台小学校内保育施設設置事業	事業区分	その他
事務事業番号	1684				

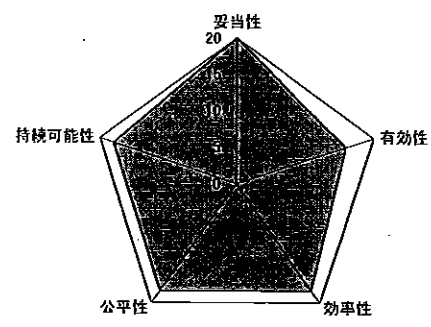
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	90	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	1684
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	本事業は、待機児童解消アクションプランの一環として、高野台留守家庭児童育成室用の建物を前倒して建設し、その前半の2年間を保育所として活用するものであるため、保育幼稚園室の事業としては平成30年度までの期間限定で実施するものである。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
11時42分20秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01685	小規模保育改修費等支援事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進		
予算事業				
所属長	北澤 直子	担当者(内線)木村(2582)		
根拠法令等	吹田市私立保育施設開設準備に係る建物改修等事業助成金交付要綱			
事業開始年度	平成28年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部(上乘せ、横出し等あり) ● なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	建物を改修し小規模保育事業所を創設する法人等		
目標	小規模保育事業所の創設		
結果	待機児童の解消		
事業概要	建物を改修し、小規模保育事業所を創設する法人等に対して、その改修費等の一部を助成し、保育の受入れ枠の拡大を図るもの。平成29年度には、5か所88名分の小規模保育事業所の創設を支援。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		(福) 耕心会(2か所)	
交付先②		(福) 清高福祉会	
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	82,500	103,845	120,000	88,059	72,000
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	82,500	103,845	120,000	88,059	72,000
特定財源(C)	73,330	92,305	106,665	78,272	48,000
国	73,330	92,305	106,665	78,272	48,000
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	9,170	11,540	13,335	9,787	24,000
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,170	11,540	13,335	9,787	24,000
財源計(C+D)	82,500	103,845	120,000	88,059	72,000

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01685

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	小規模保育事業所の整備予定箇所数	箇所	目標値	20.00	4.00	2.00
			実績値	19.00	5.00	
			達成度(%)	95.00	125.00	
目標値の積算方法	子ども・子育て支援事業計画に基づき確保が必要な小規模保育事業所の箇所数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5,465.53	17,611.80	
			一般財源(千円)	607.37	1,957.40	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保育所等の利用児童数(翌年4月1日現在)	人	目標値	5,479.00	5,679.00	7,424.00
			実績値	6,532.00	6,886.00	
			達成度(%)	119.20	121.30	
目標値の積算方法	増加定員の2/3利用児童数増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	15.90	12.79	
			一般財源(千円)	1.77	1.42	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	吹田市子ども・子育て支援事業計画に基づき、平成30年度までに待機児童を解消するための確保方を策定し、計画的に私立保育所等の創設を進めている。小規模保育事業の創設については、事業の開始にあたり公募方式をとっており、本事業を実施することで、事業者のイニシャルコストの負担軽減を図り、参入意欲の向上に資するものであり、事業計画の内容を実現していくうえで必要な事業である。 なお、平成29年度に事業計画の中間年の見直しを行い、平成29年度以降の確保方は、既に採択を終えた小規模保育事業所等を除き、保育所整備を基本としているが、連携施設の確保など小規模保育事業所整備の環境が整う場合は、個別に検討する必要があるため、本事業も継続して必要な事業である。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	小規模保育改修費等支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	1685				

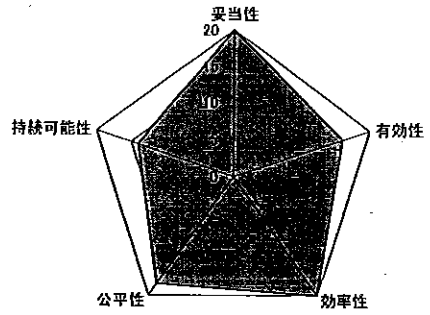
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成29年度の子ども・子育て支援事業計画の見直しにより、保育の受け皿確保の手段としては、主として保育所の創設により行うこととした。したがって、小規模保育事業による保育の受け皿確保については、概ね計画通りの成果が見込まれるといえる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>計画的な私立保育所等の整備を進めることで、利用児童数の増加を促し、待機児童数の減少が見込めるため、小規模保育改修費等支援事業については待機児童対策としての効果があり、一定の成果を挙げているところである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
14時21分58秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01726	幼稚園における長時間預かり保育運営費支援事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	23	教育環境の充実／就学・就園の奨励・援助		
予算事業	11661	01 03 02 01 16 01 01	幼稚園における長時間預かり保育運営費支援事業（児童福祉総務費	
所属長	北澤 直子		担当者（内線）[木村（2582）]	
根拠法令等	吹田市保育所等移行施設運営補助金交付要綱			
事業開始年度	平成28年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	認定こども園へ移行する私立幼稚園		
目標	私立幼稚園へ通う保育を必要とする児童		
結果	私立幼稚園での保育を必要とする児童の受入れ		
事業概要	<p>保育の供給を増やし、待機児童の解消を図るとともに、子供を安心して育てることができるような体制整備を行うことを目的として、認定こども園への移行を希望している私立幼稚園を対象に、移行までの最大5年間、11時間以上の開園を行う預かり保育等に対する運営費の補助を行います。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		認定こども園へ移行する私立幼稚園	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	13,920	0	10,440	0	6,960
人件費職員数(人)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	0	806	0	795
総事業費(A+B)	14,737	0	11,246	0	7,755
特定財源(C)	10,440	0	7,830	0	5,220
国	6,960	0	5,220	0	3,480
府	3,480	0	2,610	0	1,740
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,297	0	3,416	0	2,535
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,297	0	3,416	0	2,535
財源計(C+D)	14,737	0	11,246	0	7,755

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01726

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	補助対象となる私立幼稚園数	箇所	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	事業計画において認定こども園へ移行することを見込んでいる私立幼稚園数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	対象園における利用見込み児童数(補助対象児童数) 各年度4月1日	人	目標値	204.00	90.00	60.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	予算積算上の利用見込児童数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	吹田市子ども・子育て支援事業計画の確保方策において、小規模保育事業等の卒園児の受け皿として、2号認定子どもの保育が実施できる施設の拡充が急務となっている。認定こども園への移行を希望している私立幼稚園に対して、本事業による支援を行うことで私立幼稚園から認定こども園への移行を促すとともに、私立幼稚園において11時間以上の預かりの体制を確保することで待機児童の解消を図るために必要な事業である。今後とも、私立幼稚園からの認定こども園への移行の意向を見極め、必要な支援を行い、事業計画の着実な推進を図る。 なお、平成28年度については、事業内容の検討時点よりも国の補助要件が厳しくなっており、私立幼稚園において対応することができず、実績はなかった。平成29年度は、実施体制が整い、事業を実施する私立幼稚園が出てくるものと見込んでいたが、なお国の補助要件が厳しく、実績は無かった。平成30年度は、改めて実施体制を整え、事業を実施する私立幼稚園が出てくるものと見込んでいる。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	幼稚園における長時間預かり保育運営費支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	1726				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>私立幼稚園から認定こども園への移行を進めることで、最終的に待機児童解消の一翼を担うこととなることから移行までの事業計画を作成のうえ、確実に進めていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月11日
18時58分35秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01727	公立認定こども園安全対策事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	41	子どもの視点に立ったまちづくり/安心・安全なまちづくりの推進		
予算事業	11716	01	10	04 01 09 01 01 公立認定こども園安全対策事業（幼稚園費）
所属長	北澤 直子		担当者（内線）仲村（2581）	
根拠法令等				
事業開始年度		直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他			
対象	幼稚園型認定こども園を利用する児童			
目標	利用児童の安全の確保・処遇改善のために安全管理員を配置する。			
結果	幼稚園型認定こども園における安全対策の充実が図られ、園児が安心して園生活を送ることができる。			
事業概要	幼稚園型認定こども園に地域の人材を活用した安全管理員を配置し、不審者の侵入等を監視することにより、園における安全対策の充実を図る。 立哨時間は、7時45分から8時45分、及び17時～18時の2時間。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	■ 委託又は一部委託	委託先①	公益社団法人 吹田市シルバー人材センター	
		委託先②		
		委託先③		
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	幼稚園型認定こども園に安全管理員を配置	
		交付先①		
交付先②				
□ その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	690	685	2,068	2,061	5,513
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	82	79	81	81	80
総事業費(A+B)	772	764	2,149	2,142	5,593
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	772	764	2,149	2,142	5,593
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	772	764	2,149	2,142	5,593
財源計(C+D)	772	764	2,149	2,142	5,593

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01727

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	安全管理員配置施設数		目標値	1.00	3.00	8.00
			実績値	1.00	3.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	幼稚園型認定こども園施設数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	764.00	714.00	
			一般財源(千円)	764.00	714.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	不審者等の侵入による事件の発生防止	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	不審者等の侵入による事件の発生数を0件にする。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	人の目による抑止効果は大きなものがあると考えており、今後も警備員等の配置は必要であると考えている。平成30年度、幼稚園型認定こども園が5園開園し合計8園となっている。事業費については、業務委託料であり適切である。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立認定こども園安全対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	01727				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>人の目による抑止効果は大きなものがあると考えており、今後も警備員等の配置は必要であると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
19時14分15秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01729	子育て支援コンシェルジュ事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	22	地域における子育て支援/仕事と子育ての両立支援の推進							
予算事業	11851	01	03	02	01	22	01	01	子育て支援コンシェルジュ事業（児童福祉総務費）
所属長	北澤 直子			担当者（内線）	田中 隆博（2807）				
根拠法令等	子ども・子育て支援法								
事業開始年度	平成29年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし。								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	保育に関する施設や事業の利用を希望する保護者等		
目標	相談員による情報の提供や相談を行う。		
結果	各家庭のニーズにあった子育て支援施設や事業の円滑な利用を促す。		
事業概要	多様な教育・保育施設や事業がある中で、児童や保護者がそれらの中から自分の家庭にふさわしいメニューを確実に円滑に利用できるよう相談専門職員1人を配置し、主として保育に関する施設や事業を円滑に利用できるよう支援を行っている。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	2,222	2,212	2,212
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.05	0.05	0.05
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	0	0	403	403	398
総事業費(A+B)	0	0	2,625	2,615	2,610
特定財源(C)	0	0	1,484	1,476	1,476
国	0	0	738	735	735
府	0	0	738	735	735
その他	0	0	8	6	6
市負担(D)	0	0	1,141	1,139	1,134
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	1,141	1,139	1,134
財源計(G+D)	0	0	2,625	2,615	2,610

所属	保育幼稚園室
事務事業番号	01729

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	相談件数	件	目標値	0.00	2,070.00	2,070.00
			実績値	0.00	2,070.00	
			達成度(%)	0.00	100.00	
目標値の積算方法	前年度相談件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	1.26	
			一般財源(千円)	0.00	0.55	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	申込件数	件	目標値	0.00	6,788.00	7,179.00
			実績値	0.00	7,179.00	
			達成度(%)	0.00	105.80	
目標値の積算方法	前年度申込件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.36	
			一般財源(千円)	0.00	0.16	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>保育ニーズの多様化や就学前児童の増加に伴い、平成29年度は7,179人であった保育所等申込者数が平成30年度には7,587人に増加となった。</p> <p>窓口での相談件数が増加する中で、各地域の保育施設や地域事業等について情報提供するため、相談専門職員(臨時雇用員)を窓口配置することで市民サービスの向上につなげている。また、子ども・子育て支援新制度開始後、増加し続ける入園担当職員の業務量の緩和にもつながっている。</p> <p>今後は、幼児教育・保育無償化の影響もあり相談件数が更に増加することが予想される。現在の相談専門職員(臨時雇用員)1人の態勢では、保護者が求めるきめ細かな情報提供が不十分であり、市民サービスの後退に繋がるため、相談専門職員(臨時雇用員)を1人増とし、事業の拡充を図っていく。</p> <p>事業費については、臨時雇用員1人分の人件費等であり適切である。</p>

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	子育て支援コンシェルジュ事業	事業区分	その他
事務事業番号	01729				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年4月から施行された子ども・子育て支援新制度では、多様な教育・保育施設や子育て支援事業が用意され、待機児童の解消等のために、それらを個々のニーズに応じて確実かつ円滑に利用できるようなコーディネートが必要とされている。</p> <p>また、保育ニーズの多様化や就学前児童数の増加、及び保育の無償化も影響し、今後も保育に関する施設や事業の利用を希望する保護者の窓口相談の増加が見込まれる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価調書

事務事業名	私立認定こども園整備費助成事業				
担当部署	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	北澤 直子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成29年度	改正内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等	私立認定こども園整備事業助成金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり											
(6) 目的	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他										
	対象(誰を、何を)	範囲等 認定こども園の創設・増改築等を行う社会福祉法人及び学校法人												
	目標(どういふ状態にしたいのか)	認定こども園の創設・増改築等への助成を行うことで、幼稚園からの認定こども園化や保育の受け入れ枠拡大の促進を行う。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	待機児童の解消と良好な保育環境の維持												
(7) 事業概要	認定こども園の創設・増改築等を行う社会福祉法人及び学校法人に対し、市が建設費等の一部を助成し、保育を必要とする児童の受け入れ枠の増加を図るほか、園舎等の環境を改善し、良好な保育環境を維持するもの。 平成29・30年度の2か年事業で千里山・佐井寺地域の千里山泉2丁目で私立幼稚園から幼保連携型認定こども園への移行を行う幼稚園を設置する学校法人に対して園舎の整備費用に対する助成を実施。													
(8) H29事業別予算コード	会計	01	款	03	項	02	目	01	大	20	中	01	小	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)				85,340	89,313	374,412							
	人件費	職員数	人			0.10	0.10	0.20						
		総額(B)	千円	0	0	805	805	1,589						
	総事業費(A+B)			0	0	86,145	90,118	376,001						
	特定財源(C)			0	0	63,799	64,619	275,635						
	(内訳)	国				27,623	26,026	104,106						
		府				36,176	38,593	171,529						
		その他				0	0	0						
	市負担(D)			0	0	21,541	24,694	98,777						
(内訳)	地方債				0	0	0							
	その他				20,000	0	40,000							
	一般財源				1,541	24,694	58,777							
財源計(C+D)			0	0	85,340	89,313	374,412							
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先		①										
		主な委託内容		②										
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先		①	学校法人千里山学院									
				②										
<input type="checkbox"/> その他	内容		③											

2 評価の指標等

指標項目			項目	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	私立認定こども園の整備箇所数	目標値 (単位:箇所)		0.00	1.00
			実績値 (単位:箇所)		0.00		
		(単位:箇所)			#DIV/0!	#DIV/0!	
	目標値の積算方法	子ども・子育て支援事業計画に基づく確保が必要な私立認定こども園の整備箇所数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	#DIV/0!	
			一般財源(単位:千円)	0.00	#DIV/0!		
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値 (単位:)			0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00		0.00
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	保育所等の利用児童数(翌年4月1日現在)	目標値 (単位:人)	0.00	0.00	7,424.00
			実績値 (単位:人)	0.00	0.00		
		達成度(%)			#DIV/0!	#DIV/0!	
	目標値の積算方法	増加する定員数の2/3を前年度の目標値に対して増加させる	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	#DIV/0!	
			一般財源(単位:千円)	0.00	#DIV/0!		
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値 (単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)			0.0		0.0
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00		0.00
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) のが困難な場合	①	活動内容		目標			
	②	成果内容		達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:補助単価の設定は、国府の補助単価に合わせており、妥当と考えられるため。)</p> <p>【進捗状況の評価】 本事業の平成29年度の実施内容は、当初の予定通り進捗しており、平成30年度中に完了する見込みである。よって平成31年4月から児童の受入れを開始できるものと見込んでいる。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出る見込みであり、事業費も適正であるため、継続するべきである。</p>				

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	私立認定こども園整備資助事業	事業区分	その他
事務事業番号	001807				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

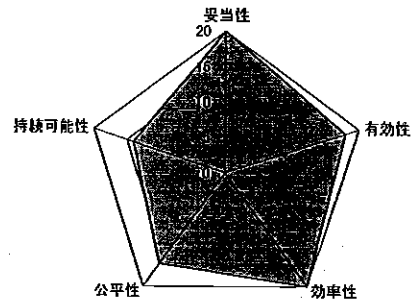
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5 点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5 点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5 点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5 点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5 点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5 点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3 点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5 点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5 点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5 点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5 点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5 点		
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3 点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3 点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5 点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5 点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1 点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3 点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5 点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5 点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	001807
-----	--------	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>子ども・子育て支援事業計画の教育・保育の確保方策の推進に資するものとして市が関わっていくべき事業である。特に喫緊の課題である待機児童対策において、保育の受け皿拡大となる施設整備への補助は効果大きいものである。 当面は、待機児童対策が急がれるが、将来的には、良好な保育環境の維持のために既存施設の大規模修繕等への支援も行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
23時19分12秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006020000	保育幼稚園室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01808	就園奨励特別対策事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	23	教育環境の充実／就学・就園の奨励・援助		
予算事業				
所属長	北澤 直子	担当者（内線）	加藤 友紀乃（2559）	
根拠法令等	私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱			
事業開始年度	平成29年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市内に居住し、私立幼稚園に就園する満3歳児から5歳児の保護者		
目標	保護者の経済的負担の軽減。		
結果	幼稚園教育の一層の普及と充実及び保護者負担軽減に対する他市町村間の格差の是正が図られる。		
事業概要	保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的に、国庫補助事業である「幼稚園就園奨励費補助事業」（以下「就園奨励費」という。）を補完する市単独補助金を支給します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
		交付先①	吹田市民が利用している私立幼稚園
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	133,463	122,895	97,384
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.50	0.50	0.20
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	133,463	122,895	97,384
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	133,463	122,895	97,384
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	133,463	122,895	97,384
財源計(C+D)	0	0	133,463	122,895	97,384

所屬	保育幼稚園室
事務事業番号	01808

2頁
平成30年 6月14日
23時19分12秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	就園奨励特別対策支給者数	人	目標値	0.00	3,415.00	3,420.00
			実績値	0.00	3,225.00	
			達成度(%)	0.00	94.40	
目標値の積算方法	給付実績	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	38.11	
			一般財源(千円)	0.00	38.11	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	私立幼稚園の在籍児数	人	目標値	0.00	5,224.00	5,574.00
			実績値	0.00	5,326.00	
			達成度(%)	0.00	102.00	
目標値の積算方法	次年度の私立幼稚園の在籍児童数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	23.07	
			一般財源(千円)	0.00	23.07	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	本市の私立幼稚園についてはほとんどが新制度に移行していないことから、近隣市町村との格差を是正し、保護者の経済的負担を軽減して、幼児教育の振興・充実を図るため、現行どおり継続する必要がある。 ただし、今後、平成31年度から幼児教育保育の無償化が実施された際には、その内容に応じて本事業の見直しを図る必要がある。

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	就園奨励特別対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	01808				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度から施行した子ども・子育て支援新制度では、私立幼稚園についても新たな施設型給付の対象となるが、私立幼稚園については新制度に移行しない選択肢もあり、本市の私立幼稚園のほとんどが新制度に移行していないことから、これまでどおり、保護者の経済的負担を軽減し、幼児教育の振興・充実を図る必要がある。</p> <p>また、近隣他市町村においては、国庫補助事業である「幼稚園就園奨励費補助事業」を補完する市単独補助金を設定していることから、保護者負担軽減に対する他市町村間の格差を是正するためにも、現行どおり継続する必要がある。</p> <p>ただし、今後、平成31年度から幼児教育保育の無償化が実施された際には、その内容に応じて本事業の見直しを図る必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価調査

事務事業名	保育対応型幼稚園助成事業				
担当部署	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	北澤 直子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成29年度	改正内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	吹田市保育対応・子育て支援型幼稚園預かり保育事業補助金交付要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、橋出し等あり) <input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性が光る学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	23							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
		範囲等													
		目標(どういう状態にしたいのか)	認定こども園の創設・増改築等への助成を行うことで、幼稚園からの認定こども園化や保育の受け入れ枠拡大の促進を行う。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	待機児童の解消と良好な保育環境の維持													
(7)	事業概要	3歳以上児の保育の受け皿確保に資するため、長時間の預かり保育を実施する私立幼稚園を設置する者に対し、事業の実施に要する経費を補助するもの。保育を必要とする児童が利用可能な「保育対応型」、保育対応型の実施日数には満たないが、恒常的に事業を実施する「子育て支援型」の2類型を実施。なお、保育対応型による受入人数は、子ども・子育て支援事業計画の保育の確保方針に位置づけている。また、													
(8)	H29事業別予算コード	会計	01	款	10	項	04	目	01	大事業	10	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)				30,600	10,200	19,600							
		人件費	職員数	人			0.05	0.05	0.05						
			総額(B)	千円	0	0	403	403	397						
		総事業費(A+B)			0	0	31,003	10,603	19,997						
		特定財源(C)			0	0	0	0	0						
		(内訳)	国				0	0	0						
			府				0	0	0						
			その他				0	0	0						
市負担(D)			0	0	30,600	10,200	19,600								
(内訳)	地方債				0	0	0								
	その他				0	0	0								
	一般財源				30,600	10,200	19,600								
財源計(C+D)			0	0	30,600	10,200	19,600								
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			主な委託内容	②											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	市内の私立幼稚園設置者										
				②											
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)		
(1) 活動指標	① 指標内容	実施する幼稚園の数	目標値 (単位:箇所)		12.00	9.00	
			実績値 (単位:箇所)		3.00		
			(単位:箇所)	#DIV/0!	25%		
	① 目標値の積算方法	意向調査を踏まえた実施見込み園数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	3,534.20	
				一般財源(単位:千円)	0.00	3,400.00	
	② 指標内容	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値 (単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)	0.0	0.0		
		② 目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	① 指標内容	保育対応型による児童の受入れ人数	目標値 (単位:人)		132.00	132.00	
			実績値 (単位:人)		164.00		
			達成度(%)	#DIV/0!	124%		
	① 目標値の積算方法	子ども・子育て支援事業計画の確保方策における確保人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	64.65	
				一般財源(単位:千円)	0.00	62.20	
	② 指標内容	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値 (単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
		② 目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) のが困難な場合	① 活動内容		目標				
	② 成果内容		達成状況				
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:公立保育所のアルバイト賃金を基にした補助単価を設定しているため、概ね妥当と考えられるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値を踏まえると、活動状況は目標値を下回っているが、成果は目標値を上回っている状況である。よって、実施園数を増やす取り組みを行うことで、さらなる成果を見込むことができると思われる。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、事業費も適正であるため、当初の予定通り、平成32年度以降の実施について検討を進めていくこととする。ただし、幼児教育の無償化の対象に幼稚園における一時預かりも含まれており、併せて検討を行う必要がある。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	保育対応型幼稚園助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	001809				

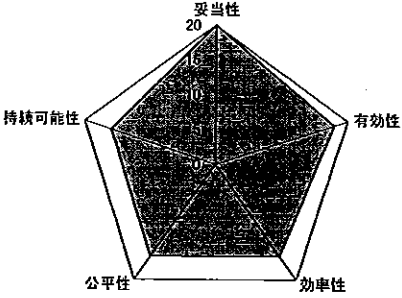
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	001809
-----	--------	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、事業費も適正であるため、当初の予定通り、平成32年度以降の実施について検討を進めていくこととする。ただし、幼児教育の無償化の対象に幼稚園における一時預かりも含まれており、併せて検討を行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調査

事務事業名	公立小規模保育事業所整備事業				
担当部名	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	北澤 直子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成29年度	改正内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等														
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり											
			節											
			01											
			細節											
			22											
(6) 目的	対象(誰を、何を) 区分 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他 範囲等 保育を必要とする児童 目標(どういふ状態にしたいのか) 公立小規模保育事業所での保育 結果(どのような効果が得られるのか) 待機児童の解消													
(7) 事業概要	近年の児童数の増加や要保育率の上昇により、保育を必要とする児童数が増加する中で、特に対策が必要な0歳児から2歳児の保育枠を確保するため、現有の公共施設等を活用して、公設公営の小規模保育事業所を設置するもの。													
(8) H29事業別予算コード	会計	01	款	03	項	02	目	01	大事業	24	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)							
			予算(千円)		決算(千円)		予算(千円)		決算見込(千円)		予算(千円)			
	事業費(A)						0		0		4,941			
	人件費	職員数	人					0.00		0.00		0.30		
		総額(B)	千円	0		0		0		0		2,384		
	総事業費(A+B)		0		0		0		0		7,325			
	(内訳)	特定財源(C)		0		0		0		0		0		
		国						0		0		0		
		府						0		0		0		
		その他						0		0		0		
	(内訳)	市負担(D)		0		0		0		0		4,941		
		地方債						0		0		0		
		その他						0		0		0		
		一般財源						0		0		4,941		
	財源計(C+D)		0		0		0		0		4,941			
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他		委託先 ① (株)真鍋建築設計事務所 ② ③ 主な委託内容 実施設計業務 交付先 ① ② ③ 内容											

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 整備を行う公立小規模保育事業所の箇所数	目標値 (単位:箇所)	0.00	1.00	
			実績値 (単位:箇所)	0.00		
				(単位:箇所)	#DIV/0!	#DIV/0!
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値 (単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)	0.0	0.0
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 整備を行ったことによる受け入れ児童数	目標値 (単位:人)		19.00	
			実績値 (単位:人)			
				達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値 (単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)	0.0	0.0
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
の3が困難な場合	①	活動内容	目標			
	②	成果内容	達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定				
	評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費はおおむね適切である。(理由:整備を行うにあたり、小規模保育事業所は、必要面積が大きい低年齢児の受入れに特化した施設であるため、通常の保育所を整備することと比較すると定員数一人あたりの単価は大きくなっているが、現有の施設を活用していることや、国の補助金の交付を受けることができることを考えると、概ね妥当と考えられるため。)</p> <p>【今後の方向性】 平成30年度中に公立小規模保育事業所を整備することにより、19人分の保育枠を新たに確保でき、待機児童対策に一定の効果が見られる。 平成30年度中に整備することで目標値を達成し、本事業は終了となる。</p>				

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	公立小規模保育事業所設置事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	001810				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	88	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	001810
-----	--------	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>本事業において、平成29年度は、実施設計業務の契約を行い、平成30年度に工事や開設準備を行い、平成31年4月に事業を開始することで、目標達成の見込みです。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価調書

事務事業名	認定こども園吹田南幼稚園移転整備事業				
担当部署	児童部	室課名	保育幼稚園室	室課長名	北澤 直子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	29年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	11							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市立認定こども園吹田南幼稚園											
		結果(どのような効果が得られるのか)	認定こども園吹田南幼稚園を旧環境管理センター跡地へ移転する。												
(7)	事業概要	吹田南小学校の過大校対策として、小学校に併設する認定こども園吹田南幼稚園の保育室を普通教室等に改修するため、旧環境管理センター跡地へ同園を移転する。													
(8)	H29事業別予算コード	会計	01	款	04	項	02	目	01	大事業	01	中事業	01	小事業	00
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)		平成30年度 (2018年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	0	0	106,354							
		人件費	職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50							
			総額(B)	0	0	0	0	3,973							
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	106,354							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		0	0	0	0	106,354							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	88,100							
その他	0		0	0	0	10,000									
一般財源	0		0	0	0	8,254									
財源計(C+D)		0	0	0	0	106,354									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先			①									
						②									
				主な委託内容			③								
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先			①											
				②											
				③											
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/
			実績値 (単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	
			実績値 (単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値 (単位:%)	0.00	0.00	/
			実績値 (単位:%)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	
			実績値 (単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) のが困難な場合	① 活動内容	既存建物解体工事に着手する。		目標	平成32年度の新園舎での運営を目指し、遅滞なく安全に工程を進める。	
	② 成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定				
	評価の説明	平成29年度から実施設計業務を開始している。平成30年度に旧環境管理センターの既存建物解体工事を行い、平成31年度に園舎新築工事着工、平成31年3月竣工をもって本事業終了となる。事業費について、実施設計に基づくため適切である。				

事務事業分析シート

所属名	保育幼稚園室	事業名	認定こども園吹田南幼稚園移転整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01814				

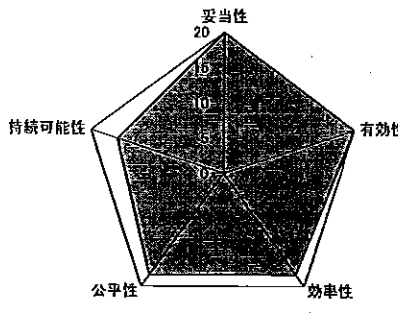
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	94	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保育幼稚園室	事務事業番号	01814
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	☐ 主要な政策課題としての取組	☑ 部として重点的な取組	☐ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田南小学校の過大校対策として、小学校に併設する吹田南幼稚園の保育室を普通教室等に改修することとなったが、吹田南幼稚園は、平成29年度から認定こども園に移行しており、3歳児の待機児童解消に寄与する施設であり、今後も近隣の開発に伴う就学前児童の増加から保育需要のさらなる高まりも想定され、当分の間認定こども園としての運営を継続する必要があるため、学校敷地外へ移転することとなった。移転先は、同一小学校区内、また、子ども子育て支援計画の同一保育提供区域内に位置する旧環境管理センター跡地であり、平成32年度からの新園舎での運営に向け、平成30年度に既存建物の解体工事、平成31年度に新園舎の新築工事を進めていく。 なお、旧環境管理センター跡地には、水道部所有地が含まれるため、課題の整理が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)